

2021 National Institute of Fitness and Sports

2021 大学案内

KANOYA

スポーツで
未来を拓く
自分を創る

スポーツで
未来を拓く
自分を創る



全国でただ一つの国立の4年制体育大学

国立大学法人 **鹿屋体育大学**

問合せ先：総務課広報係

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

TEL：0994-46-4818 URL <https://www.nifs-k.ac.jp/>

Twitter、Facebookで情報発信中！



twitter



facebook



公式マスコットキャラクター
パララン



2021 National Institute of Fitness and Sports

2021 大学案内

KANOYA



鹿屋体育大学長

松下 雅雄

鹿屋体育大学では、全国でただ一つの国立の体育系大学という特性を十分に活かし、健全な身体と調和・共生の精神を併せ持つ人材の育成に必要不可欠なスポーツ・身体運動を通じて、創造性とバイタリティーに富む有為の人材を輩出するとともに、体育・スポーツ科学分野における学術・文化の発展と国民の健康増進に貢献し、もって健全で明るく活力に満ちた社会の形成に寄与することを目的としております。

この目的を実現すべく、教育、研究、社会貢献及びグローバル化という観点から、社会の信頼に応えられるよう自己改革をしつつ、個性輝く大学を目指しております。

皆さんには、キャンパスの豊かな自然環境と充実した教育研究施設の中で、各自の設定した目標を達成するよう計画的に取り組み、これからの社会に必要なリーダーとしての能力を備えていただきたいと思っております。

学長からの メッセージ

山並みゆかし 高隈山に
いのちの歌が こだまする
真理をみつめて 能力に挑み
情熱よせる 若人の
ああ 感激の 花が咲く
鹿屋体育大学に
ああ 感激の 花が咲く

鹿屋の地から 世界の国へ
いま交流の 輪をひろげ
豊かな抱負を 語らいながら
未来を拓く 若人の
ああ 栄光の 旗が鳴る
鹿屋体育大学に
ああ 栄光の 旗が鳴る

黒潮満ちる 錦江湾が
夢さわやかに 明けわたる
日進月歩の 理想にもえて
大きく伸びる 若人の
ああ 青春の 意気躍る
鹿屋体育大学に
ああ 青春の 意気躍る

作詞 内与詩守 作曲 大川内国雄

鹿屋体育大学学生歌

- TOPICS…………… 2
- 体育学部…………… 8
- 大学院…………… 18
- 学生生活・就職…………… 19
- 施設…………… 32
- 課外活動…………… 38
- 入試情報…………… 44
- 地域貢献・社会連携…………… 46
- アクセス・周辺環境…………… 48

スポーツで
未来を拓く
自分を創る



Blue Winds presents. スポーツを「する・みる・ささえる」 様々なイベントを開催!

2019年度もBlue Winds主催のスポーツイベントを多数開催し、多くの市民の方に足を運んでいただきました。5月には第2回となる市民参加型運動会「かのやエンジョイスports」を開催。小学生や職場の同僚などで結成した18チームと、その応援団など300名を超える方々が集まり、話題の「eスポーツ」や本学学生が考案した競技を含めた全9種目の合計得点で優勝を目指しました。第1回と2年連続で参加した方も多く、大いに盛り上がった1日となりました。また、4月～5月と8月、10月にはカレッジスポーツデイを開催し、バレーボール及びバスケットボールの試合を観戦・応援やバレーボール教室などを行いました。東京2020オリンピックやかごしま国体の開催に向けた気運と相まって、「みる」スポーツへの関心はますます高まってきているように見受けられました。今後も鹿屋体育大学ではスポーツを通じた地域活性化の取り組みを続け、市民の皆様がスポーツを「する・みる・ささえる」機会を提供する予定です。



UNIVAS Awards 2019-20 「スポーツ統括部局SA賞」部門で 最優秀賞を受賞しました!

一般社団法人大学スポーツ協会(以下、UNIVAS)が主催する「UNIVAS Awards 2019-20」のスポーツ統括部局SA賞部門で本学が最優秀賞を受賞しました。この賞は、競技成績のみならず、学業充実や安全安心、大学スポーツの盛り上げ等に著しい成果をあげ、UNIVASの理念の体現に貢献をした学生アスリートやスポーツに関わる学生、団体を表彰するもの。スポーツ統括部局SA賞部門は大学スポーツ振興に関する先進的取り組み事例を行ったスポーツ統括部局(大学)及びSAを対象としています。

本学は、平成29年度に地方型大学スポーツ振興のモデル創設を目的としてSA室を設置し、その企画立案、体制整備を行い、大学の所在する自治体である鹿屋市と一体となったモデル事業を展開し、日本初となる自治体と大学共同による地域密着スポーツブランド「Blue Winds」を平成30年度に創設しました。このたび、地域のシンボルを創出し、大学スポーツによる地域連携とブランディングにより、大学スポーツ振興に寄与したことが評価され、最優秀賞に選ばれました。

今後も鹿屋体育大学ではスポーツを通じた地域活性化の取り組みを進めてまいります。

本学学生の研究成果が表彰!

「日本スポーツ産業学会賞」受賞



このたび、八尋風太さん(体育学研究科体育学専攻修士課程2年)、木原沙織さん(同修士課程1年)が、日本スポーツ産業学会第7回冬季学術集会「リサーチカンファレンス2020」において日本スポーツ産業学会賞を受賞しました。八尋さんの受賞した研究内容は、「スポーツ指導者が抑うつ傾向に陥るプロセス:アイデンティティに着目して」木原さんは「水泳観戦者の客観的満足度の研究:事前情報の有無による満足度の変化に着目して」と題した研究内容です。木原さんは、昨年のリサーチカンファレンス2019でも学部の卒業論文で取り組んだ研究内容で笹川スポーツ財団賞を受賞しており、2年連続のうれしい受賞となりました。八尋さんは都合により学長への報告に参加できませんでしたが、2人の益々の活躍が期待されます。



「日本水泳・水中運動学会年次大会」奨励賞

2019年10月「日本水泳・水中運動学会年次大会」において加地智哉さん(体育学研究科修士課程体育学専攻1年)が一般口頭発表部門で奨励賞を受賞しました。発表内容は「間欠的全力クロール泳時の泳動作と手にはたらく流体力の変化」と題し、水中モーションキャプチャと圧力分布計測を併用することで、25mのクロール泳を4回全力で泳ぐ中、試技回数を重ねることで泳動作と推進力がどのように変化したかを分析しまとめたものです。加地さんは「このような賞をいただけたことは本学の環境の良さはもちろんのこと、ご指導いただいた先生方のご協力によるものであり、心から感謝しています。今後はグローバルな世界でも活躍できるようさらに精進します」と今後への意欲をみせました。



2019 TOPICS

スポーツサイエンスキャンプ in 鹿屋体育大学を開催!



2019年8月6日～9日の3日間、高校生のための先進的科学技术体験合宿プログラム「スポーツサイエンスキャンプ in 鹿屋体育大学:スポーツ科学の最前線～From Gene to Gold～」が開催されました。このプログラムは、スポーツ科学の最先端テクノロジーを紹介するとともに、パフォーマンスの向上に最先端科学が果たす役割について理解を深めてもらうこと、そしてスポーツ科学の研究成果が国民すべての健康の維持・増進に対しても大きく貢献していることを理解してもらうことを目的としたものです。プログラムでは、スポーツ科学分野における最先端研究についての講義や、ハイスピードカメラ等の機器を操作する演習等が行われました。参加者からは、「最先端の機械を使うことが初めてだったのでとてもいい経験になった」「今回の経験を競技力向上につなげたい」「鹿屋体育大学には最先端の技術を学び、かつ部活動に打ち込める環境が整っており驚いた」などの感想が聞かれ、本プログラムを堪能した様子でした。

東京2020オリ・パラに向けた様々な事業を開催!



宮下純一氏による講演会が開催されました!

2019年10月、東京2020応援プログラム「宮下純一氏による講演会～出会いに感謝 思い続けたオリンピック～」が開催されました。この講演会は、大学院体育学研究科修士課程1年の木原沙織さんを中心に学生主体で企画され、講師として鹿児島県出身の北京オリンピック競泳男子400mメドレーリレー銅メダリストで、現在はスポーツ解説者やタレントとして活躍している宮下純一氏を招いて行われました。

講演会では、日本選手権や北京オリンピック競泳決勝時の映像とともに実物の銅メダルを披露しました。水泳を始めたきっかけは、幼少期に水が大嫌いだった幼稚園の先生から両親にスイミングスクールへ通わせることを勧められたためであったことや、順調に記録が伸びていた学生時代から全く記録が伸びなくなったプロ時代を経験しながら北京オリンピックで銅メダルを取るまでの軌跡について、途中で会場の学生らとの会話も楽しみながら、夢を叶えるためには明確な夢を持ち続けてあきらめないことや、人との出会いを大切にすることが大事であると話しました。講演会の最後には、宮下氏を囲んで参加者全員と記念撮影を行いました。

ヨーコ・ゼッターランドさんとのバレーボールイベントを開催しました!

2019年12月、東京2020応援プログラム「ヨーコ・ゼッターランドさんとのバレーボールイベント」が開催されました。バルセロナオリンピック女子バレーボール銅メダリストで、本学大学院修士課程生でもあるヨーコ・ゼッターランドさんを講師にお招きし講演と実技教室の2部制で構成、約140名が訪れました。

「Nice try & Good job」と題した講演では、生い立ちからメダリストとなるまでの道りや、トップアスリートとしての日常の姿勢や生き方を通して、目の前のチャレンジに精一杯向き合う姿勢や諦めない心を「TRYOUT～チャンスをください～」や「Nice try～失敗を成功に繋げるために～」というキーワードと共に、参加している子供たち向けに言葉を選んで、丁寧に話しました。

実技教室では体を温める導入運動から、バレーボールの基本の「き」となるような足の動きやパスの動作を参加者が楽しみながらできる動きで指導。講演のなかで毎日の練習も試合の時と同じように一瞬一瞬を大切に向き合うことや「できない」「無理」等全体の士気がさがる言葉を発しないことなど、3時間近くの教室のなかでヨーコさんが貰ってきた強くなるための動きや考え方の繊細な部分までの訓練が始終盛り込まれた、充実の教室となりました。



POINT | 01

23の団体と
2つの研究会が
全国・世界で活躍

>>> P38 ~ 「課外活動団体」



POINT | 02

2つの課程でそれぞれの専門に
向けた学びが可能

>>> P8 ~ 「体育学部」

NIFS 10



POINT | 07

47都道府県から
学生が集まり
仲間の輪が広がる

>>> P44 ~ 「入試情報」



POINT | 06

スポーツで
世界と
つながる

>>> P26 ~ 「国際交流」



POINT | 08

最先端の
研究設備を備えた
施設で学べる

>>> P32 ~ 「施設」

POINTS

鹿屋体育大がよくわかる
10のポイント



POINT | 03

ニーズに対応した
多様な
教育プログラム

>>> P18 ~ 「大学院」

POINT | 05

医師、看護師が
常駐し
リハビリ機器も
利用可能

>>> P22 ~ 「福利厚生」



POINT | 09

地域との交流で
様々な取り組み

>>> P46 ~ 「地域貢献・社会貢献」



POINT | 10

豊かな自然で
学びに集中
できる環境

>>> P47 ~
「アクセス・周辺環境」

POINT | 04

1年次から
手厚い就職支援

>>> P28 ~ 「就職支援」



Kanoya

2021 National Institute of Fitness and Sports

スポーツで未来を拓く自分を創る

8階建ての実験研究棟の屋上から総合体育館を見下ろす景色





アドミッション・ポリシー

1. **【体育学を学ぶための基礎的な力を身に付けている学生】**
文系・理系に偏ることのない基礎学力とともに、自分の得意分野の実技能力をも身に付けている学生。
2. **【自己表現ができる学生】**
自分が身に付けた学力や実技で得た経験値を総合的に活用・応用し、スポーツ・武道および体育・健康づくりに関する新たな課題やその解決策を考察し、他者に伝えることができる学生。
3. **【新たな課題に挑む意欲のある学生】**
礼節とスポーツマンシップを身に付けた、新たな課題に進んで挑戦しようとする、感性豊かで協調性のある学生。

カリキュラム・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で、市民性、国際性を備えたリーダーを養成するために、課程や学生の志向性に沿って、学年進行で1.専門性の深化と充実、2.社会人としての豊かな教養の涵養、3.将来を展望し、勤労観・職業観を醸成できるための教育課程を編成しています。

ディプロマ・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダーを養成するための知識・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位を認定します。

「課程」と「系」

本学は、教育目標の達成に向け、体育学部にスポーツ総合課程及び武道課程を設定し、各課程の中に3つの系(柔軟なコース)を編成し、それぞれの専門に向けた勉学ができるようにしています。

スポーツ総合課程

(定員：120名)

スポーツ総合課程の目標

スポーツ総合課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、競技スポーツ、生涯スポーツ、健康づくりに関する専門的能力を、理論と実践の往還を通じて修得することにより、バイタリティーを持ち、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

専攻系の紹介

アスリート・コーチング系

トップレベルの競技力の向上、ジュニア期からトップレベルまでのコーチングを行うことのできる人材を養成するコース。

生涯スポーツ系

健康づくりのコーディネーターやスポーツクラブ等の管理運営、プログラム開発を行うことのできる人材を養成するコース。



武道課程

(定員：50名)

武道課程の目標

武道課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、我が国発祥の身体運動文化として伝承され、今日において競技文化としても広く認識されている武道、特に柔道・剣道における心と技を伝統的修練形式である稽古を通じて修得することにより、武道の精神と、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

専攻系の紹介

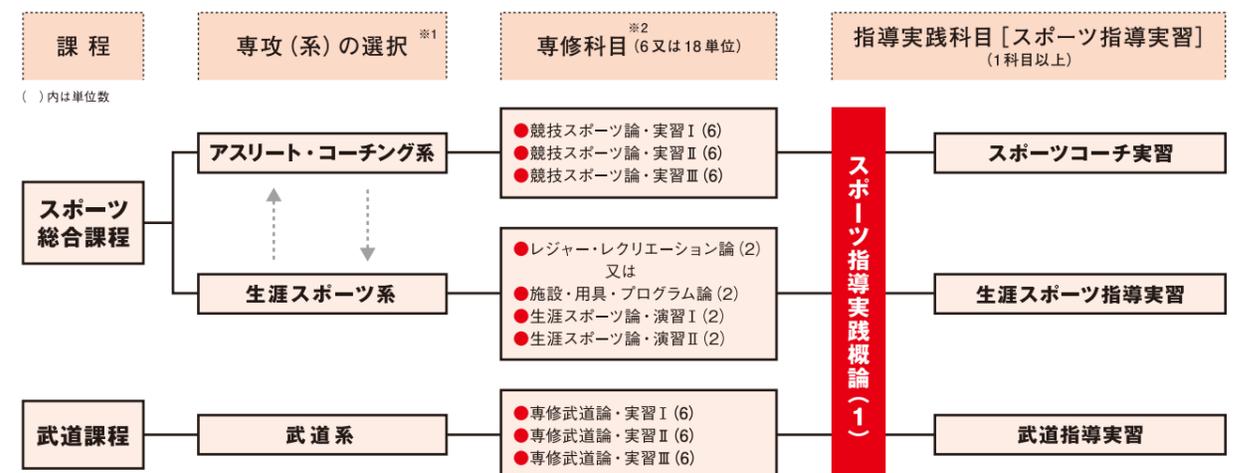
武道系

武道における「こころ」と「わざ」を伝統的修練形式により学び、武道の実技指導を行うことのできる人材を養成するコース。



専攻科目の系の選択

- ①スポーツ総合課程に所属する学生は、「アスリート・コーチング系」「生涯スポーツ系」より1系以上を選択し、履修します。
- ②武道課程に所属する学生は、「武道系」を履修します。

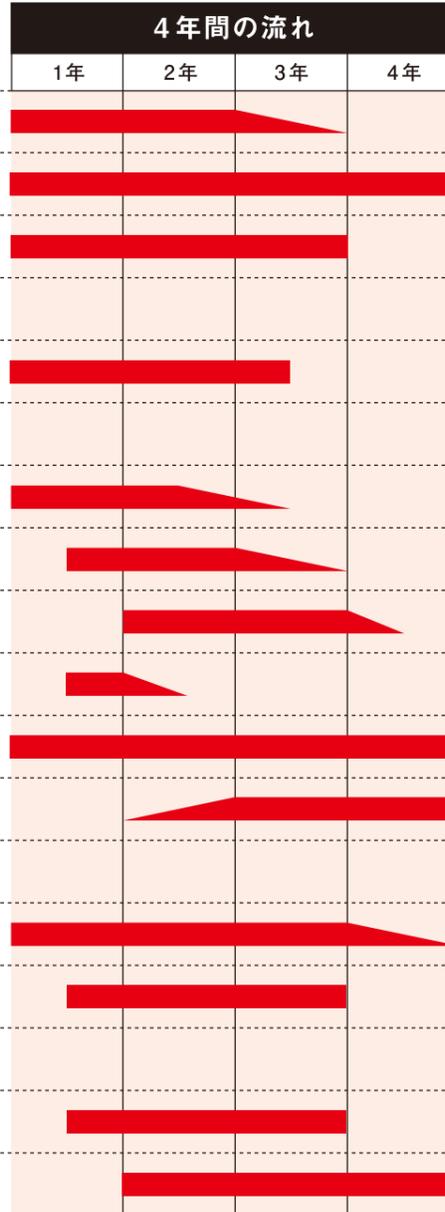


※1) 決められた条件の中で、1つの系以上を選択できるものとします。スポーツ総合課程では2つの系より選択できます。
 ※2) 各系の必修科目を示しています。
 (注) 選択した系以外で履修可能な他系を ----> で示しています。

教育課程の編成

授業科目は原則として学期完結型の科目(学期毎に単位が取れる科目)として設定しています。
ただし、一部の科目について、通年科目(1年間履修して単位がとれる科目)となっています。

一般科目	社会の一員として適切に振る舞う態度と豊かな教養、コミュニケーション能力を身につける科目
コミュニケーション科目	国内はもとより国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力を涵養する科目
社会・文化・自然科目	社会の一員として、人間、社会、文化自然及び環境に関する教養や態度を涵養する科目
総合科目	社会の一員として、基礎的な情報リテラシー、表現的能力や討論力を身につける科目
キャリア形成科目	スポーツリーダーとしての将来像と職業観・就業観及びキャリアデザイン力を醸成する科目
キャリアデザイン科目	スポーツリーダーとしての将来像と勤労観・職業観を醸成する科目
専門科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する専門的な知識、実技力、科学的支援力や表現的能力及び課題解決力を身につける科目
基礎科目A(人文・社会・自然系)	体育学の基礎となる人文・社会及び自然系の分野の内容を理解する科目
基礎科目B(指導・普及系)	スポーツ・武道及び体育・健康づくりについての指導や普及の基礎的な内容を理解する科目
応用科目	国民各層のスポーツ・武道及び体育・健康づくりを指導し、普及させるための専門的、応用的な内容を身につける科目
実験演習科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な科学的支援力や表現的能力を身につける科目
関連実技科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な実技力を身につける科目
ゼミナール(卒業研究)	スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける関心のあるテーマについて、体育学の知識を総合的に活用し、課題設定、解決、説明する能力を身につける科目
専攻科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して年齢、目的等に応じた体系的な実技能力や事業運営力を身につける科目
専修科目 (アスリート・コーチング系/生涯スポーツ系/武道系)	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して、年齢、目的等に応じた体系的な実技指導力や事業運営力を身につける科目
指導実践科目 (アスリート・コーチング系/生涯スポーツ系/武道系)	専修科目等で身につけた体系的な実技指導力や事業運営力を実地的・実践的に活用し、深める科目
教職科目	中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許状を取得するための専門(教科)及び教職に関する科目
教職	中学校や高等学校の教員としての免許を取得するための教職に関する科目
専門	中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許を取得するための専門(教科)に関する科目



スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける
実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダー



2019年4月、学生が本学の教育目標やディプロマ・ポリシーを身近に意識するとともに、自身の学びの目的・目標をより明確なものにするために、「学びの極意」に関するパンフレット「鹿屋体育大学での4年間が充実する秘密の書」を作成しました。詳しくは本学HPでご確認ください。



また、授業科目は下表のように、履修(選択)の仕方により「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」に分類されます。

区分	科目区分の特徴(ねらい)
必修科目	単一の授業科目で、その修得が義務づけられている科目
選択科目	複数の授業科目のうちから指定する科目数又は単位数の修得が義務づけられている科目
自由科目	必修科目及び選択科目を除き、その修得を卒業認定の要件とされている科目

授業時間

1. 学期と授業時間割

学年を前期(4月1日~9月30日)と後期(10月1日~3月31日)に区分し、原則として学期ごとに授業科目の設定を行います。なお、授業は、原則として各学期とも15週(試験を課す場合は16週)にわたって行います。

	第1時限 (90分)	第2時限 (90分)	第3時限 (90分)	第4時限 (90分)	第5時限 (45分)
開始	8:30	10:10	12:40	14:20	16:00
終了	10:00	11:40	14:10	15:50	16:45

前期: 4月1日~9月30日
後期: 10月1日~3月31日

授業は、左表のとおり行います。
集中講義や学外授業などを行うことがあります。

2. 休業日

休業日(授業を行わない日)は次のとおりですが、休業日においても特別な場合には授業を行うことがあります。
① 週休日(土曜日・日曜日)及び国民の休日に関する法律に定める休日
② 開学記念日(10月1日)
③ 夏期休業日(8月15日~9月30日) 冬期休業日(12月26日~1月7日) 春期休業日(3月11日~3月31日)
④ その他大学が定めた日 注: 休業日においても、特別な場合には講義を行うことがあります(集中講義等)。

3. 授業の方法

講義、演習、実験、実習もしくは実技又はこれらの組み合わせにより実施します。また、授業は対面形式の他、遠隔形式で実施しているものもあります。
※情報活用能力の育成等のため、タブレットコンピュータを必携としております。

ゼミナール

ゼミナールは、少人数の学生が指導教員の下で、お互いに質疑討論を交わし、学習成果を発表しながら専門研究領域における知識を深め、研究方法を履修していく授業形態です。3.4年次の必修科目で、各指導教員により実施されます。ここでは、数あるゼミの中から3つを紹介します。

スポーツ・武道実践科学系 | 高橋 仁大ゼミ | 判断力は情報量で決まる！試合をデータ化！

私たちのゼミはテニスを中心に、バスケットボールやバレーボール、野球などを対象とした、ゲームパフォーマンス分析や競技力向上のためのコーチングに関する研究を行っています。プロスポーツでも使われているSportscodeを用いたゲームパフォーマンス分析を3年生から行い、各競技の観点から実践的に活用しています。この活動はパフォーマンスを数値化し、ゲームを読み解く能力の向上が期待されます。ゲームの構造やメカニズムを理解すること（インプット）、自分たちの研究を他者に理解してもらうこと（アウトプット）を通じて、自身の競技力向上や、コーチングスタッフ・アナリストの育成につなげていきます。



江上 翔紀さん (長崎日本大学高等学校出身)

私はゲームパフォーマンス分析が野球に活かせると思い高橋ゼミを選択しました。昨年の春季リーグでは相手ピッチャーに完全に抑えられ良い結果が得られなかったため、相手ピッチャーの球を全て数値化する研究に取り組みました。その結果、秋季リーグでは優勝、南部九州大会では準優勝に貢献することができました。将来の指導に役立てる専門的な取り組みができるのも高橋ゼミの特徴なので、とても充実した環境だと思います。



スポーツ生命科学系 | 中垣内 真樹ゼミ | 運動・スポーツで健康づくり・介護予防を！

私たちのゼミは、運動やスポーツが人の健康にどのような効果をもたらすかを研究しています。超高齢社会になっている日本において、健康づくり(生活習慣病予防)や介護予防(身体的な老化にブレーキを)の対策は急務です。中高齢者はもちろんのこと国民全体がいかに楽しく運動やスポーツを取り組めるか、その方法論を構築(運動・スポーツプログラムを開発)し、その効果を明らかにすることは社会貢献にも大きく繋がります。大学内での勉強にとどまらず、地域に出て健康支援の活動などのフィールドワークをしながら研究を進めています。老若男女問わず多くの方々と交流するので人間性や社会性も養われると信じています。

篠原 諒さん (広島三育学院高等学校出身)

私は教員志望で編入学しましたが、世代の異なる中高年者への運動支援について研究することで、学校での教育にも幅と深みが生まれると考えてこのゼミを選びました。運動支援での指導内容が、参加者の中で確立されていく仕組みや実態を理解することは学校教育にも生かせると考えています。また、2025年(少子高齢化)問題を前に、適切な運動支援の方法を理解しておくことは、社会から必要とされる人材となることに繋がると 생각합니다。よく学び、交流する楽しいゼミです！



スポーツ人文・応用社会科学系 | 中本 浩揮ゼミ | 心理という観点から競技力向上を目指す

スポーツ心理学とは、「スポーツに関わる課題を心理学的な側面から明らかにして、スポーツの実践や指導に科学的知識を提供する学問」です。その中でも、私たちのゼミは運動学習や知覚-運動制御を主な研究課題としており、技術の習得から試合でのパフォーマンス発揮まであらゆる角度からスポーツを解明し、研究を通して得た知見を現場での実践に生かすことを目指しています。今年の4年生はメンバー全員が男子で華のないゼミではありますが、ひとりひとりに役割があり、互いに助け合うことで、とても雰囲気良く、楽しくゼミ活動を行っています。また、心理学の研究室には他に2つのゼミがあるので、研究室間でも楽しい議論ができます。



松下 航介さん (九州産業大学附属九州産業高等学校出身)

私は、「スポーツするときに目を取り入れた情報をどのように運動する際に使っているのか」というところに興味を持ち、このゼミを選びました。私が行っている野球では投手が投げて打者が打つまではわずか0.4~0.5秒はどしかなと言われており、どのようにして打っているのか、どうすれば打てるようになるのかを知りたいと思っていました。そのなかでも私は予測に着目して、打者がバットを振るまでにどんな過程を経ているのかについて研究しています。自分の競技について何気なく感じていることでも、深く調べてみると新たな発見があるところがこのゼミの面白いところだと思います。



スポーツ心理学研究室(森ゼミ・中本ゼミ・幾留ゼミ)

開設科目

一般科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次
コミュニケーション科目	英語Ⅰ	1	社会・文化・自然科目	日本事情※	1	総合科目	環境論	1
	英語Ⅱ	2		現代日本事情※	2		総合演習A	3
	上級英語	3		各国文化研究	1~4		総合演習B	2
	英語コミュニケーションⅠ	1		倫理・哲学	1		総合演習C	3
	英語コミュニケーションⅡ	2		人権論	1		総合演習D	2
	上級英語コミュニケーション	3		ジェンダー論	1		総合演習E	2
	中国語	3		歴史学	2		情報処理A	1
	韓国語	3		社会学	2		情報処理B	1
	国語・文章表現法	1		日本国憲法	1		情報処理C	2
	ドイツ語	3		日本文化論	1		プレゼンテーション・討論Ⅰ	2
	フランス語	3		異文化理解	3		プレゼンテーション・討論Ⅱ	3
	留学生のための英語※	1		国際関係論	4		交流リベラルアーツ	1~4
日本語演習Ⅰ※	1	生物化学論	1					
日本語演習Ⅱ※	2	身体科学論	1					

※は外国人留学生対象科目

キャリア形成科目

科目	キャリア	履修年次	科目	キャリア	履修年次	科目	キャリア	履修年次
キャリアデザインⅠ		1	キャリアコミュニケーション		3	キャリア対策セミナー(一般企業)		3
キャリアデザインⅡ		1	企業実習(1週)		3	キャリア対策セミナー(公務員)		3
キャリアデザインⅢ		2	企業実習(2週)		3	ボランティア活動		1~4
キャリアセミナー		3	キャリア対策セミナー(教員)		3			

専門科目

基礎科目	履修年次	基礎科目	履修年次	関連実技科目	履修年次	基礎科目	履修年次		
A	解剖生理学	1	応用科目	スポーツ産業論	2	関連実技科目	ラグビー	2	
	体育・スポーツ哲学と倫理	1		スポーツ老年学	2		ダンス	3,4	
	体育・スポーツ史	1		スポーツ文化論	2		バレーボール	3	
	健康教育学	1		スポーツトレーニング実践論	3		柔道	1	
	運動生理学	1		体育・スポーツ行政学	3		剣道	1	
	スポーツ栄養学	1		武道文化論	3		エアロビックダンス	1	
	スポーツ社会学	2		身体発育発達論	3		ジョギング&ウォーキング	2	
	スポーツ経営・管理学概論	2		スポーツ戦術実践論	3		生涯スポーツ・レクリエーション&ゲームズ	1	
	生涯スポーツ学概論	2		社会調査論	3		テニス	2	
	スポーツ心理学	1		スポーツ運営論	3		夏季山岳レジャースポーツ実習	2	
	バイオメカニクス	2		体育・スポーツ統計学	3		冬季山岳レジャースポーツ実習	2	
	衛生学・公衆衛生学	2		スポーツマーケティング論	3		海洋スポーツ	2	
スポーツ医学	3	運動処方論	3	卓球	3				
B	救急処置論・実習	2	実験演習科目	応用スポーツ心理学	3	ゼミナール(卒業研究)	バドミントン	3	
	トレーニング科学概論	2		イベント管理学概論	3		ソフトボール	2	
	スポーツカウンセリング論	2		ヘルスプロモーション論・実習	4		ゴルフ	4	
	運動学概論	2		救急法実習	1~4		なぎなた	2	
	学校保健	2		実技・関連科目	体育学実験Ⅰ(運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ心理学、衛生学・公衆衛生学、スポーツ栄養学)		1	相撲	2
	スポーツと法	3			体育学実験Ⅱ(運動生理学)		2	弓道	2,4
	コーチ学概論	2			体育学実験Ⅱ(バイオメカニクス)			野外活動	2
	障がい者スポーツ論	3			体育学実験Ⅱ(スポーツ心理学)			体力トレーニング	2
	武道学概論	1			体育学実験Ⅱ(衛生学・公衆衛生学、スポーツ栄養学)			ゼミナールⅠ	2
	マッサージ・テーピング論・実習	3			陸上・体操・水泳			ゼミナールⅡ	3
	武道史	2			バスケットボール			ゼミナールⅢ	4
	運動生化学	2			サッカー			卒業研究	4
アスレチックリハビリテーション論	2								
アスレチックリハビリテーション実習	3								

専攻科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次					
専修科目	アスリート・コーチング系	陸上競技	1~4	専修科目	海洋スポーツ	専修科目	コミュニティスポーツ	3					
		水泳	1~4		自転車競技		1~4	指導実践科目	スポーツ指導実践概論	1			
		競技	1~4		レジャー・レクリエーション論		2		スポーツ指導実習	スポーツコーチ実習	3		
		スポーツ論・実習	1~4		施設・用具・プログラム論		2			SCO-OP実習	生涯スポーツ指導実習	3	
		バスケットボール	1~4		生涯スポーツ論・演習Ⅰ		3				専修武道論・実習Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ	武道指導実習	3
		サッカー	1~4		健康・体力		3					専修武道論・実習Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ	柔道
	テニス	1~4	野外教育	3	専修武道論・実習Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ	剣道	1~4						

教職科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次					
教職科目	教師論	1	教職科目	特別活動論	2	教職科目	教育課程論	3					
	教育心理学	2		教育方法・技術	2		専門科目	保健体育科教育法Ⅲ	3				
	特別支援教育	2		学校と教育の歴史	3			専門科目	保健体育科教育法Ⅳ	3			
	道徳の理論と指導法	2		教育法・教育行政	3				専門科目	教育実習Ⅰ	4		
	総合的な学習の時間の指導法	2		生徒・進路指導論	3					専門科目	教育実習Ⅱ	4	
											専門科目	教職実践演習(中・高)	4

取得可能な資格

[1] 本学で取得できる教育職員免許状 ●中学校教諭一種免許状 ●高等学校教員一種免許状 ※本学の授業科目の履修によって取得することができます。

[2] 本学で取得できる資格・受験資格等

【スポーツ指導基礎資格】●スポーツリーダー【競技別指導者資格】●コーチ1●コーチ3●教師【フィットネス資格】●ジュニアスポーツ指導員●スポーツプログラマー【マネジメント資格】●アシスタントマネージャー【各種加盟団体等の資格】●日本サッカー協会公認C級コーチ●全日本剣道連盟公認社会体育指導員(初級)【健康運動実践指導者】●健康運動実践指導者【健康運動指導士】●健康運動指導士【その他の資格等】●イベント検定●レクリエーション・インストラクター●レクリエーション・コーディネーター※資格取得のためには、本来は各種加盟団体で実施する講習会を受講し、検定試験に合格しなければなりません。本学は課程認定を受けていることから、指導者資格ごとに指定された本学の授業科目を履修すれば、講習会の一部が免除されます。

— 体育学部 — スポーツ総合課程 4年
今村 風沙



IMAMURA Nagisa

Q1: なぜ鹿屋体育大に?

単純に九州が好きで住みやすいと思ったからです。テニスの競技レベルは関東関西に劣りますが、「九州から勝ち上がる選手になってみせる!」という思いと、勉学と部活に取り組む環境が整っていることからここを選びました!

Q2: 今頑張っていること、目標は?

目標は大学卒業までに全国優勝を獲ることです。授業に関しては、とりあえずギリギリでも単位取ればいかなと...笑

Q3: 好きな授業はなんですか?

動くことが好きなので、座っている授業よりは関連実技の授業が好きです。

Q4: 鹿屋体育大を目指す人に一言!

周りに誘惑するものが少ないので競技、勉学に励むには最適な場所だと思います。自然が豊かなので、夏は川遊び、海遊び、釣りなども充実した遊びができます!鹿屋体育大を目指そうと思っている皆さん、ぜひお越しください!

— 体育学部 — スポーツ総合課程 3年
小林 青



KOBAYASHI Aoshi

Q1: なぜ鹿屋体育大に?

国内唯一の国立体育大学であるということと、充実した設備が整っており競技と勉強の両立ができると思ったからです。

Q2: 今頑張っていること、目標は?

陸上競技です。目標は日本一になること。

Q3: 好きな授業はなんですか?

トレーニング科学概論です。様々なトレーニングについて学べて自分の競技に活かれます!

Q4: 鹿屋体育大を目指す人に一言!

「スポーツに打ち込みたい」「競技力を向上させたい」という人には最高の環境があると思います!教員や就活に関しての支援も充実しています!鹿屋体育大学で目標や夢に向かって頑張ってください!



私の時間割<1年前期>

	月	火	水	木	金
1限			体育・スポーツ哲学と倫理	体育・スポーツ史	
2限	英語I	解剖生理学	生物化学論	キャリアデザインI	
3限	情報処理A②	サッカー①	身体科学論		競技スポーツ論・実習Iーテニス
4限		生涯スポーツ・レクリエーション&ゲームズ	健康教育学		
5限					

■平成29年度入学(推薦入試) ■尚綱高等学校出身



私の時間割<1年前期>

	月	火	水	木	金
1限	スポーツ栄養学	スポーツ指導実践概論(1-8週)キャリアデザインI(9-16週)	人権論(1-8週)ジェンダー論(9-16週)	教師論	運動生理学
2限		スポーツ心理学		日本国憲法	
3限	英語コミュニケーションI		体育学実験I	エアロビクスダンス①	競技スポーツ論・実習Iー陸上競技
4限	柔道②	国語・文章表現法			
5限					

■平成30年度入学(推薦入試) ■広島県立祇園北高校出身

福田 大悟

— 体育学部 — 武道課程 3年



FUKUDA Daigo

Q1: なぜ鹿屋体育大に?

早くから声をかけていただいて、僕自身、地方の大学から日本一になりたいという気持ちが強かったからです。

Q2: 今頑張っていること、目標は?

柔道で学生日本一、シニアの全国大会、国際大会で結果を残すことです。そのために筋力トレーニングはもちろんのこと、いかにその筋力を有効的に使うか、メンタル面についても研究しています。

Q3: 好きな授業はなんですか?

心理学やカウンセリング学が自分にとって競技に深く関わっていて、すごく勉強になります。また、運動生理学も筋肉や神経について詳しく学ぶことができ、自身のトレーニングの効率が格段に上がりました。

Q4: 鹿屋体育大を目指す人に一言!

豊かな自然の中で勉強にスポーツにとことん打ち込める環境です。今の成長があるのは間違いなく鹿屋体育大学のおかげです。みなさんも一緒に鹿屋の地から世界を目指しませんか?

前川 輝人

— 体育学部 — スポーツ総合課程 4年



MAEKAWA Akito

Q1: なぜ鹿屋体育大に?

ここでしか得られない知識や、ここでしかアウトプット出来ない技術がたくさんあったからです。世界に鹿屋体育大学しかない研究施設、豊富な種類の課外活動など、専門学校で培ったものを全力で発揮できるのはこの大学しかないと思い、鹿屋体育大を選びました。

Q2: 今頑張っていること、目標は?

現在は、在学中に起業したパーソナルトレーニングジムの運営に夢中です。もちろん、大学での授業やアルバイトにも専念していますが、大学で学んだ知識・技術を鹿屋市の地域の方々に還元できる日々を楽しみながら暮らせる日々が最高です。

Q3: 好きな授業はなんですか?

楽しい授業は多くありますが、特にゼミナールの授業が好きです。スポーツ分野で特に自分の興味のある分野で仮説を立てて組み立てていく、今まで学んだ知識、得た技術を最大限に活かせる授業は夢中に出来ます。

Q4: 鹿屋体育大を目指す人に一言!

鹿屋体育大では、スポーツに関わる仕事やスポーツ選手として生きていくうえで必要な科学的知識が得られることはもちろん、環境がとてもしっかりしています。共に成長しあえる仲間、専門的で豊富な知識をもつ指導者や、疑問を解決してくれる研究施設など、スポーツ人として最高の学びの場所です。鹿屋体育大で多くの知識・技術・経験を得たみなさんと一緒に、日本のスポーツ界を盛り上げていくことを心より楽しみにしています!

※学年はメッセージ作成時



私の時間割<1年後期>

	月	火	水	木	金
1限	スポーツ栄養学	スポーツ指導実践概論(1-8週) キャリアデザインI(9-16週)	人権論(1-8週) ジェンダー論(9-16週)	教師論	運動生理学
2限	英語コミュニケーションI	スポーツ心理学		日本国憲法	武道学概論
3限		サッカー②	体育学実験I	環境論	専修武道論・実習I—剣道
4限		国語・文章表現法			
5限					

■平成30年度入学(AO入試) ■延暦寺学園 比叡山高等学校出身



私の時間割<3年前期>

	月	火	水	木	金
1限	教育史	生徒指導論	体育・スポーツ哲学と倫理	教育課程論	バイオメカニクス
2限	保健体育科教育法III		保健体育科教育法I	衛生学・公衆衛生学	情報処理A④
3限		器械運動①	スポーツ医学		競技スポーツ論・実習II—テニス
4限	救急処置論・実習				
5限	救急処置論・実習				

集中講義: 身体科学論、介護等体験、ゼミナールII
■平成30年度入学(3年次編入) ■沖縄県立浦添高等学校出身

G RADUATE SCHOOL OF PHYSICAL EDUCATION

大学院体育学研究科(体育学専攻)の目的

鹿屋体育大学大学院体育学研究科(体育学専攻)は、スポーツ・健康に関する学術の理論及び応用と実践が一体となった教育研究を展開し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した学力を培い、スポーツ文化の進展及び国民の健康増進に寄与することを目的としています。

多様な教育プログラム

さまざまなニーズに対応した多様な教育プログラムのもと、多様な人材の入学をお待ちしております。

東京サテライトキャンパス 社会人コース (修士課程、博士後期課程)

各競技においてトップレベルのコーチやアスリートとして活躍している人や体育系の教員らが、その技術に関する実践的指導能力と高度な科学的研究能力を東京に在住しながら修得できるようにすることを目的として、社会人コースを夜間に開設しています。



国立スポーツ科学センター(JISS) との連携大学院(博士後期課程)



国立スポーツ科学センターを主な勉学の場として、同センターの特色を生かした授業科目の履修及び研究指導を受け、鹿屋体育大学大学院の博士(体育学)の学位取得を目指すものです。

鹿屋体育大学



筑波大学との共同専攻

スポーツ国際開発学共同専攻 (修士課程)

スポーツというツールを用いて、国内外で生じている課題の解決に貢献できる人材の育成を目指す修士課程です。本学と筑波大学・日本スポーツ振興センターの3機関が共同して、スポーツを通じた国際開発と平和に関する実践的能力を養う教育プログラムを提供します。

JAPAN SPORT COUNCIL

国立大学法人 鹿屋体育大学
NIFS National Institute of Fitness and Sports

筑波大学
University of Tsukuba

大学体育スポーツの充実のために、教育指導と研究の循環を高度に展開できる能力育成を軸とした教育指向型の博士課程です。本学と筑波大学とが共同設置しており、一部の科目を除き、遠隔講義システムを利用して、それぞれの大学で開講する授業を受講することができます。

大学体育スポーツ高度化共同専攻
(後期3年の課程のみの博士課程)

体育学・スポーツ科学 連携大学院教育プログラム(博士後期課程)

本学大学院体育学研究科(博士後期課程)を中心として、体育系の修士課程を有する熊本大学と鹿児島大学、宮崎大学の大学院教育学研究科とが連携・協力して、鹿屋体育大学大学院の博士(体育学)の学位取得を目指すプログラムです。



大学院生からのメッセージ

スポーツ界の発展のために

私は幼い頃から続けてきた水泳について深く研究を行いたいと思い、本学の大学院に進学しました。学部時代からスポーツバイオメカニクスに興味があり、泳動作や泳中の手にはたらく力について研究しています。

本学は、加減圧調整可能流水プールをはじめとした設備や、多種多様な実験器材があり、非常に恵まれた環境で研究を行うことができます。この環境の中でスポーツ界に少しでも貢献できるように努力を続けています。

加地 智哉

KAJI Tomoya

- 大学院体育学研究科 体育学専攻(修士課程)2年
- 北海道岩見沢東高等学校出身



就 学 生 生 活 職 生 活

CAMPUS LIFE & CAREER SUPPORT

学生宿舎紹介

学生宿舎は、大学敷地の一角に位置し、1棟70名収容の建物を5棟設けています。部屋はすべて個室(約6畳)で、収容人員は350名(男子280名、女子70名)、現在、在学生全体の約4割の学生が入居しています。棟内は、居室のほか、各階に共用施設として補食談話室、洗面、洗濯室、浴室、トイレ等があります。

寄宿料等は、1ヶ月当たり13,800円(寄宿料4,300円、運営費6,500円、居室電気料3,000円)です。規則正しい生活を送ることができるように、学部1年生から3年生については学生食堂での朝食摂取を入居の条件としています。

朝食代:年額76,320円(令和元年度実績)、年度当初に前納(理由がある場合は、事前の欠食届提出により返金)

寝具類(掛・敷布団、毛布、枕、シーツ及びカバー)は、衛生管理面を配慮して入居者全員分を大学指定の業者からリースしています。消耗品(トイレトーパー、指定ゴミ袋、ゴミ袋、食器用スポンジ・洗剤、居室用蛍光灯)は入居者から徴収している運営費で購入しており、管理人室で払い出します。



居室
居室は、すべて個室(洋室)になっています。広さは約10㎡(長方形で約6畳)です。



学生宿舎 Q&A

Q. 入居選抜方法について

A ■ 新生入生においては、(1)学生宿舎生活の支障の有無、(2)自宅から大学までの距離及び交通手段、(3)家庭状況及び経済状況、について勘案して選考を行います。加えて2年生からは、各種宿舎行事への出席状況や、日頃の生活態度なども審査対象になります。学生宿舎の入居許可期間は1年間(4月~翌年3月)ですので、入居後も毎年度選考を行います。

Q. 自動車の乗り入れについて

A ■ 学生宿舎には約150台分の入居者用駐車場があります。駐車場の利用は許可制ですので、学生宿舎管理人室で駐車場の空き状況を確認し、申請書類を提出することで利用できます。なお、利用できるのは原則学部2年生以上で、学生宿舎から大学へ自動車を通学することはできません(大学と隣接しているため、徒歩で通学可能です)。

Q. 周辺アパートについて

A ■ 大学周辺には学生向けアパート等が点在しており、家賃は、地域、部屋の設備等により異なりますが、6~8畳のキッチン、バス、トイレ付きで、25,000円~40,000円程度です。大学から5kmほど離れた西原地区は、家賃相場が多少上がりますが、スーパー、コンビニ等が大学周辺より多く生活至便です。

学生宿舎利用者



NAWA Shiori

徒歩5分

名和 栞

■1カ月の生活費

家賃	13,800円
食費	30,000円
日用品	5,000円
交通費	3,000円
交際費	5,000円
部費・合宿代など	5,000円
貯金	20,000円

計..... 81,800円

■1日の流れ (課外活動のある日)



Q1: 寮の良さは何ですか?

- ・大学が近く、朝食が義務化されているので欠かさず食べられること
- ・家賃や光熱費が安いこと
- ・門限などがないため自由に生活できること

Q2: 学生生活の楽しみは?

- ・自分の時間が増えて、自由な時間を趣味などに使えること

Q3: お気に入りの場所やお店を教えてください

- ・JULIAN・BAKERY・FACTORY

Q4: 休みの日は何をしていますか?

- ・部屋にいるときは、映画観賞や読書、絵を描いたりしています。
- ・外出するときは、気になっているお店に行ったり、友達とご飯を食べにいたりしています。



アパート・マンション利用者



OTA Junya

車で7分

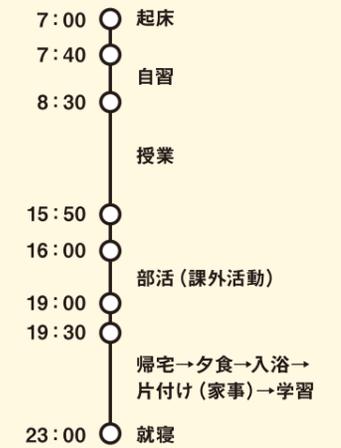
太田 淳也

■1カ月の生活費

家賃	25,000円
食費	20,000円
光熱費	10,000円
交通費	12,000円
貯金	10,000円

計..... 77,000円

■1日の流れ (課外活動のある日)



Q1: アパートの良さは何ですか?

- ・時間の使い方、お金のやりくりを自分自身で計画・管理することで、改めて今まで支えてくれた人のありがたさに気づくことができる
- ・これから自立して社会で生きていくために必要なことを学ぶ良い経験になる

Q2: 学生生活の楽しみは?

- ・毎日の授業、そして部活の仲間と切磋琢磨して汗を流しあえること

Q3: お気に入りの場所やお店を教えてください

- ・荒平天神(鹿屋に来たなら一度は行くべき!!)
- ・アスリート食堂(栄養豊富&美味しい)

Q4: 休みの日は何をしていますか?

- ・少しでも生活費・遠征費を稼ぐため、アルバイトをしている
- ・時間のある時は鹿屋を散歩して、鹿屋の豊かな自然を楽しんでいる
- ・図書館で本を読んだり、調べものをしたりする



COMMUNITY SERVICE FACILITIES

福利厚生

キャンパス内には、学生・教職員の健康の保持・増進を図るための施設として「保健管理センター」があるほか、福利厚生に資するため食堂、売店、理・美容室、ATMなどがあります。また、学生の憩いの場として「学生ラウンジ」を設け、学生相互のコミュニケーション等に利用されています。



保健管理センター

保健管理センターは、学生及び教職員の保健管理に関する専門的業務を行い、心身の健康の保持増進を図るための施設です。ここでは、通常医師及び看護師が在室し、学内で発生したケガ等に対する応急処置、健康及び精神衛生に関する相談・助言並びに保健指導のほか、定期健康診断等もおこなっています。また、リハビリテーションに必要な機器も備えてあり、リハビリを行うこともできます。



学生食堂

食堂は明るく開放感があり、多くの学生が利用します。朝食はバイキング方式で朝練後の学生や授業に向かう学生でにぎわいます。また、昼食はアラカルト方式になっており、好みのメニューを選ぶことができます。このほか、ランチバイキングやカレーフェアといったイベントも企画しています。



学生ラウンジ 売店 理・美容室 ATM 合宿研修所 ロッカー室

学費 SCHOOL EXPENSES

入学科等(令和2年度実績)

区分	金額	納入時期
入学科	282,000円	入学手続時
授業料	前期	267,900円 4月30日まで
	後期	267,900円 10月31日まで
その他経費(各種保険料等)	78,360円	入学手続時

学費の免除

1. 高等教育の修学支援新制度

令和2年度から、住民税非課税世帯またはそれに準ずる世帯の学生向けに、授業料・入学科の減免に、給付型奨学金の支給をセットにした新制度が開始されました。申込については、高等学校等での予約採用のほか、入学後の在学採用によっても申込みことができます。(新制度の非対象者や大学院生には、大学独自の入学料免除・授業料免除制度があります。)

2. 入学料特別免除

入学前の競技成績(大学院の入試成績)の特に優れた者に対し実施します。AO(SS)入学者は全員、推薦入試入学者は競技成績により選考(申請不要)。

3. 授業料特別免除

在学中の競技成績又は学業成績の特に優れた者に対し実施します(申請不要)。

傷害保険 CASUALTY INSURANCE

教育研究活動中の不慮の災害事故の補償や、課外活動中・往復中の事故の補償のほか、他人への賠償等のために、次のような各種傷害保険を準備しています。

学生教育研究災害傷害保険	保険料：3,300円(4年間) 1,750円(2年間)
学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険	保険料：1,360円(4年間) 680円(2年間)
<small>学生が体育実技や実験実習等の正課の授業中、学校行事、課外活動中等、教育研究活動中の事故や通学中等の事故によって被った傷害に対して、補償する制度。本学では、学生が安心して学業に励むことができるように入学期に全員加入していただいています。</small>	
スポーツ安全保険	保険料：7,400円(4年間) 3,700円(2年間)
<small>課外活動団体等でスポーツ活動、指導活動等を行う者がその活動中や往復中に生じた事故によって傷害を被った場合や他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりして損害賠償責任を負った場合、補償する制度。本学では、学生が安心して課外活動ができるように入学期に全員加入していただいています。</small>	
傷害総合保険	保険料(4年間) 一人暮らしA_55,860円 自宅学生D_47,850円 一人暮らしB_48,060円 自宅学生E_40,050円 一人暮らしC_42,920円 自宅学生F_34,910円
学研災付帯学生生活総合保険	保険料(4年間) 自宅A_56,610円 一人暮らしD_64,190円 自宅B_41,220円 一人暮らしE_48,800円 自宅C_36,790円 一人暮らしF_44,370円
<small>教育研究活動中のみならず日常生活で生じたさまざまな事故に対して、総合補償する制度。損害賠償制度や学費・育英費用にも対応しており、加入は、任意となっています。</small>	

※令和元年4月現在

経済支援 ECONOMIC SUPPORT

鹿屋体育大学修学支援基金

寄付金及びその運用により構成される「鹿屋体育大学修学支援基金」を創設し、経済的理由により修学が困難な学生の支援を行っています。

- ① 授業料、入学料又は寄宿料の全部又は一部を免除する事業
- ② 学資金を支給する事業
- ③ 学生の留学に係る費用を負担する事業 等

特別奨学金(本学独自の奨学金)

学資負担者の死亡・失職等の理由により、経済的に著しく困窮し、かつ修学態度が良好である学生に対して、「特別奨学金(20万円)」を給付します。

日本学生支援機構

① 第一種奨学金(無利子)

人物・学業ともに特に優れかつ健康であって、経済的理由により著しく就学困難と認められる者に貸与されます。

② 第二種奨学金(有利子)

人物・学業ともに優れかつ健康であって、経済的理由により著しく就学困難と認められる者に貸与されます。

③ 入学時特別増額貸与奨学金(有利子)

日本政策金融公庫の教育ローンを低所得を理由に受けられなかった世帯向け。人的保証制度に代わる機関保証制度により、保証人がいない場合でも一定の保証料を支払うことにより奨学金を貸与されることがあります。

鹿屋体育大学 日本学生支援機構奨学生数一覧

学部						
入学年度	学生数 a	一種	二種	併用(一種+二種)内数	貸与人数 b	貸与人数 b/a
H28	192	46	58	10	94	49%
H29	202	49	57	13	93	46%
H30	180	73	51	15	109	61%
H31	181	51	63	15	99	55%
合計	755	219	229	53	395	52%
大学院						
入学年度	学生数 c	一種	二種	併用(一種+二種)内数	貸与人数 d	貸与人数 d/c
H29	10	4	1	0	5	50%
H30	15	7	1	0	8	53%
H31	27	9	2	2	9	33%
合計	52	20	4	2	22	42%

(注) 地方公共団体や民間の育英奨学事業団体等の奨学金もあります。



4

新入生歓迎会

鹿屋の地に早く慣れ親しんでもらうことを目的に、入学式後に地元鹿屋市の皆さんによる新入生歓迎会が開催されます。歓迎会では、かんぱちや黒牛、黒豚などの地元の特産品を用いた料理が振る舞われるほか、様々な歓迎イベントが行われます。

- 新入生オリエンテーション
- 入学式
- 新入生歓迎会
- 前期授業開始
- 新入生合宿研修
- 競技力向上の会



- 体育会定例総会
- 大学説明会 (東京サテライトキャンパス)

- 大学説明会・体験授業
- 学期末試験
- 交通安全等講習会



11

学園祭「蒼天祭」

蒼天祭では、模擬店のほか、本学名物のマッスルコンテストや豪華景品が当たるビンゴ大会、ゲストによるお笑いライブなど毎年趣向を凝らしたイベントが行われ、学外から多くの方が来場されます。また、スポーツパフォーマンス研究センター(詳細35頁)の見学・体験や研究成果等のパネル展示も行われ、本学の教育・研究に触れていただく場にもなっています。

- 大学説明会 (東京サテライトキャンパス)
- 健康セミナー
- 学校推薦型選抜及び特別入試
- 学園祭「蒼天祭」



- 学期末試験
- 競技成績報告会
- 学生リーダーズセミナー
- 一般選抜・私費外国人留学生入試
- 体育会定例総会

8



かのや夏祭り参加

地元鹿屋市の「かのや夏祭り」(かのや夏祭り実行委員会主催)に、学生、教職員で踊り連を結成し、参加しています。普段ご支援いただいている地元の皆さんと一緒に祭りを盛り上げています。

- かのや夏祭り参加
- 大学説明会(東京サテライトキャンパス)
- 第3年次編入学試験
- 夏季休業開始



- 大学院共同専攻入試
- 国際スポーツアカデミー

- 大学説明会 (東京サテライトキャンパス)



10

11

12

1

2

3

- 開学記念日
- 後期授業開始
- 総合型選抜(SS)入試第2次選考
- 大学説明会
- 大学院体育学専攻入学試験

- 大学入学共通テスト
- 大学説明会(東京サテライトキャンパス)

3

卒業論文発表会

学部生は卒業論文が必修となっており、4年の後期に、指導教員のもと研究してきた成果の発表を行います。発表会では教員や学生と質疑応答が交わされます。

- 卒業証書授与式、学位記授与式
- 大学説明会(東京サテライトキャンパス)

INTERNATIONAL EXCHANGE PROGRAM

国際交流

本学は、下の地図に示す9つの大学と大学間交流協定を結んでいます。このうち、上海体育学院(中国)、韓国体育大学校(韓国)、国立体育大学(台湾)、天津体育学院(中国)の4つの大学と学生交流(交換留学)を行っています。交換留学生は、学内で選考し決定しますが、交換留学の期間は1年以内で、派遣留学生数は1大学につき2名までとなっています。この他、平成30年度の短期研修は、アメリカ合衆国(ハワイ州)へ3名が参加しました。

留学の意義を考慮し、留学先で修得した授業科目等の単位をできる限り本学で取得した授業科目として認定するための取扱いも定めています。

なお、留学先での奨学金貸与を希望する場合は、独立行政法人日本学生支援機構の「第二種奨学金(短期留学)」制度に申し込むことができます。

外国人留学生在籍状況(令和2年5月1日現在) 単位:人

国・地域	学生区分別内訳				計
	大学院生	学部学生	特別聴講学生	研究生	
中国	2	2		1	5
アルゼンチン		1			1
インド	1				1
バングラデシュ	1				1
計	4	3	0	1	8

*「特別聴講学生」は、交換留学制度により交流協定大学から本学へ留学している学生です。

大学間交流協定状況(令和2年5月1日現在)



鹿屋体育大学国際スポーツ・アカデミー形成支援事業

本事業は、文部科学省が公募した「スポーツ・アカデミー形成支援事業」に申請して採択された事業で、平成26年度から事業を開始しております。

本事業では、日本を含むアジア諸国におけるオリンピック教育プログラムの開発と、アジア各国にグローバルな人材を育成することを目的としています。その目的の達成に向け、国内外の大学や関係機関と連携し、主にアジア諸国の大学院レベルの学生や、各国のオリンピック委員会からの推薦が得られるトップコーチ、指導者を対象とした短期の国際セミナーを年1~2回開催しています。



交換留学参加者からのメッセージ

私は、2019年2月から一年間、台湾桃園市にある台湾国立体育大学に留学しました。同大は野球やバスケットを中心に多くの部活動が台湾トップレベルの成績を誇っています。また、競技だけでなく、マーケティングやスポーツ振興の分野にも力を入れており、スポーツを多様な視点から学べる環境になっています。私はレジャー産業学部という学部所属していました。台湾ではアウトドア産業が盛んで同大学では一つの学部として成り立っています。また、障害者スポーツ、スポーツメディアなどに特化したコースもあり、きっと興味を惹かれる授業が見つかると思います。時には困難なこともあります。留学での経験は人生の中で大きな財産になると思います。皆さんもぜひ留学を考えてみてください。

岩谷 広大

IWAYA Kodai

体育学部スポーツ総合課程 令和2年3月卒業
名古屋リゾート&スポーツ専門学校出身



留学生からのメッセージ

私たちは、韓国体育大学校から1年間の交換留学生として鹿屋体育大学に来たオヒソン、チェジョンインです。鹿屋体育大学には、韓国体育大学校から毎年2人の交換留学生が留学し勉強しています。私たちは、鹿屋体育大学の素晴らしい教育環境でスポーツだけでなく日本の文化も直接見て感じながら学んでいます。また、中国、台湾などの留学生だけではなく、日本人学生と交流し、世界を見る視野がさらに広がったと思います。皆さんもぜひ、鹿屋体育大学に来て一緒に楽しみましょう!

吳 喜宣

OH HEESUN

崔 貞仁

CHOI JEONGIN

2019年度特別聴講生 所属大学:韓国体育大学校



私は上海体育学院からの交換留学生、严妍(ゲンケン)です。鹿屋体育大学では、たくさんの友達ができ、たくさんの新しい知識を学び、中国と日本の間のスポーツ発展状況の違いも学びました。日本に着いたばかりの頃は日本語が上手ではありませんでしたが、先生方やクラスメートは、喜んで私と一緒に交流して日本語を教えてくれるのでとても感謝しています。鹿屋体育大学では学習面や生活面の日常の多くの活動を支援してくれるだけでなく、留学生に日本文化を体験する機会を提供してくれるためとても充実した留学生活を送ることができました。ぜひ鹿屋体育大学へ来ててください。

严 妍

YAN YAN

2019年度特別聴講生 所属大学:上海体育学院



鹿屋体育大学に入学して、留学生生活を有意義にするために、1つポイントが見つかることができました。それは【1つ1つ深く参加する】ことです。大学の授業だけでなく、サークル、アルバイト、ボランティア、課外活動等の学内外のいろいろな活動に積極的に参加することで、外国での生活により早く慣れてくると感じました。そして深く参加するほど貴重な技術や経験も手に入ります。さらに、チャンスも増えてくると信じています。これからの人生にも留学生活で学んだことを生かしていきたいです。

叢 璋

CONG WEI

体育学部スポーツ総合課程 4年



就職支援

キャリア形成支援室

キャリア形成支援室は、就職やキャリア形成について学生の皆さんをサポートするためのセクションで、以下の設備等を備えており、学年に関係なくだれでも利用できます。

- インターネットにより就職情報等を検索できるパソコン(2台)
(利用時間/8:30～17:15)
- 求人資料、各種就職専門書・専門雑誌、資格試験雑誌等
- 貸出用就職関係図書

また、キャリア形成支援室には、就職相談員を配置し、就職相談に対応しています。



就職支援事業等(主なもの)

1 年次	<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅠ <input type="checkbox"/> キャリアデザインⅡ <input type="checkbox"/> インターンシップ事前勉強会 <input type="checkbox"/> 教員採用・公務員模擬試験
2 年次	<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅢ <input type="checkbox"/> 企業実習 <input type="checkbox"/> インターンシップ <input type="checkbox"/> 就職活動・採用試験報告会 <input type="checkbox"/> 就職塾 <input type="checkbox"/> 教員採用・公務員模擬試験
3 年次	<input type="checkbox"/> キャリアセミナー <input type="checkbox"/> キャリアコミュニケーション <input type="checkbox"/> キャリア対策セミナー <input type="checkbox"/> 企業実習 <input type="checkbox"/> インターンシップ <input type="checkbox"/> 学内企業説明会 <input type="checkbox"/> 学外合同企業説明会 <input type="checkbox"/> 就活スタートアップ講座 <input type="checkbox"/> 自己分析・自己PR作成講座 <input type="checkbox"/> 業界・企業研究セミナー <input type="checkbox"/> SPI対策講座 <input type="checkbox"/> 面接・グループディスカッション対策講座 <input type="checkbox"/> 就職塾 <input type="checkbox"/> 教員採用・公務員模擬試験
4 年次	<input type="checkbox"/> 教員採用・公務員模擬試験 <input type="checkbox"/> 教員採用試験直前対策 <input type="checkbox"/> 教育実習 <input type="checkbox"/> 模擬面接 <input type="checkbox"/> エントリーシート・履歴書の添削



教員対策・公務員対策

模擬試験を年数回実施しています。また、希望者に対しては、模擬面接も随時実施しています。



学内企業説明会

学内にて企業の採用担当者による企業説明会を開催しています。



就職塾

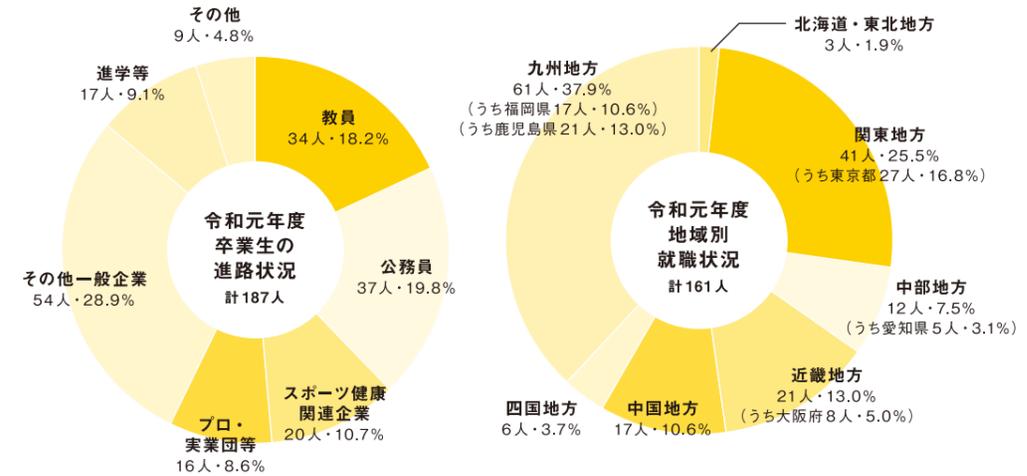
年数回、休日を利用して外部講師を招いて「就職塾」を開講しています。この企画では、職業選択や自己分析についてアドバイスいただくとともに、履歴書の書き方や面接の心構えについても指導してもらいます。



合同企業説明会

年1～2回福岡市で開催される合同企業説明会に、借り上げバスを利用して「日帰りバスツアー」を行います。

就職実績



卒業・終了後の進路状況等は
このQRコードへアクセス願います

主要就職先

過去5年間の主な就職先・進路先<平成27年度～令和元年度>

教員(臨時的任用教員・非常勤講師を含む)

茨城県、三重県、京都府、和歌山県、岡山県、広島県、山口県、香川県、福岡県、熊本県、大分県、鹿児島県 ほか32都府県

公務員

[行政職] 土浦市、伊勢崎市、岡谷市、福井県、藤枝市、福山市、佐賀市、鹿屋市、垂水市、志布志市、大崎町、南大隅町、名護市、那覇市、ほか全19自治体[警察官] 警視庁、神奈川県警、三重県警、大阪府警、広島県警、福岡県警、佐賀県警、長崎県警、熊本県警、大分県警、宮崎県警、鹿児島県警 ほか全28都府県[刑務官] 東京拘置所、札幌刑務所、甲府刑務所、岐阜刑務所、加古川刑務所、長崎刑務所、麓刑務所、熊本刑務所、大分刑務所、鹿児島刑務所[消防士] 東京消防庁、大阪市、名古屋、広島市、一宮市、佐世保市、福岡市、春日井市、前橋市、西宮市、大隅肝属地区 ほか16自治体[その他] 陸・海・空自衛隊、自衛隊体育学校、青年海外協力隊、県体育協会 ほか

スポーツ関連企業

上尾メディックス、アシックスジャパン、ヴィッセル神戸、FC琉球、カマタマーレ讃岐、カープスジャパン、キャノンデール・ジャパン、THINKフィットネス、O1EGG.Fitness、セントラルスポーツ、太陽スポーツクラブ、チャコット、ドームヒューマンキャンパス、ドーム、阪神タイガース、東大坂スタジアム、広島東洋カープ、松本山雅FC、ミウラ・ドルフィンズ、ミズノ、モンベル、リーフラス、ルネサンス ほか約100社(敬称略)

プロ・実業団等の選手

[サッカー] アビスパ福岡、ヴェルスバ大分、愛媛FC、鹿児島ユナイテッドFC、

ギラヴァンツ北九州、サガン鳥栖、湘南ベルマーレ、テゲバジャーロ宮崎、徳島ヴォルティス、ブラウブリッツ秋田 ほか [バレーボール] 上尾メディックス、大野石油広島オイラーズ、黒部アクアフェアリーズ、トヨタ車体クインシーズ、PFUブルーキャッツ、富士通テンレッドフェニックス ほか [バスケットボール] AC播磨イーグレッツ、OTCきくや、紀陽ハートビーツ、新潟アルビレックスBBラビッツ、山梨クイーンビーズ、山形銀行Lyers、レバンガ北海道 ほか [自転車] 愛三工業レーシングチーム、宇都宮ブリッツェン、KINAN Cycling Team、Ciel Blue鹿屋、シマノレーシング、TeamUKYO、レバンテフジ静岡、UVCA Troyes Fem、[陸上競技] 京セラ、資生堂、TOTO [体操競技] 徳洲会体操クラブ、セントラルスポーツ、

その他の一般企業

一条工務店、Wiz、ANAエアポートサービス、ANA新千歳空港、NTTコムエンジニアリング、鹿児島銀行、河合楽器製作所、京都西川、コカ・コーラボトラーズジャパン、サントリービバレッジサービス、JFEスチール、城山観光、積水ハウス、JTB、JR九州、Sky、スターフライヤー、スズキ、スポーツフィールド、住友林業、第一生命、大東建託、大和ハウス工業、東和薬品、TSO International、長島観光開発、南州農場、日本郵政、日本通運、日本マクドナルド、日本生命、日本防蝕工業、西日本鉄道、ネットヨタ各店、パロマ、福岡大学、ホリプロ、ホテルリステル、マイナビ、明治、明治安田生命、楽天、安川電機、横浜銀行、ほか約270社(敬称略)

進学

筑波大学大学院、信州大学大学院、埼玉大学大学院、愛知教育大学大学院、福岡教育大学大学院、九州大学大学院、熊本大学大学院、鹿屋体育大学大学院 ほか

就職活動体験談

可能性ある限り挑戦を

就職活動を始めるにあたってたくさんの不安がありました。まずは自己分析や企業研究など出来ることから始めました。不明確なことは就職相談員を初め、多くの方々に相談する事で、明確にすることができました。私は関東周辺で就職活動を行いました。多額の交通費、移動時間を要し、悩んだり、苦しんだりした時期もありましたが、参加できる説明会や実習は積極的に参加しました。その結果、将来やりたいことが明確になり、今に繋がっていると考えます。就職活動は自身と向き合い、将来を考えることができる最高の機会です。少しでも可能性があるならば、たくさん挑戦してより良い道を切り開いてください。

堀江 康孝

HORIE Yasutaka

- スポーツ総合課程
令和2年3月卒業
- 鳥取県立倉吉西高等学校出身
- 勤務先:
ANAエアポートサービス株式会社





鹿屋で過ごした4年間は私にとって今でも大切な思い出であり、充実した日々でした。

地域の皆様のご支援、先生方の熱心なご指導、そしてなにより朝から夜まで苦楽を共にした仲間が存在があり、幼い頃からの「バスケットボール選手になる」という夢を叶えることができました。授業以外のほとんどを体育館で過ごし、夢中で練習した日々は私の財産です。ここは自分の可能性を広げられる場所になるはず。素晴らしい環境、施設が整っている鹿屋でそれぞれの夢に少しでも近づけるように頑張ってください。心から応援しています！

新潟アルビレックスBBラビッツ

井上 愛 INOUE Megumi

平成24年3月 体育学部スポーツ総合課程卒業
私立英明高等学校出身

鹿屋で学んだ4年間

私は在学時、男子バスケットボール部に所属していました。現在は、大和ハウス工業株式会社に就職し営業をしております。私が所属する部署では、数億単位の商材を扱うので、毎日が刺激的で充実した日々を送ることができています。こうして、1人の社会人になることができたのは、「鹿屋で過ごした4年間」があったからだと強く感じています。4年間は、あっという間に過ぎ去っていきます。皆さんにとって最高の4年間を過ごしてください。応援しています。

大和ハウス工業(株)

長谷川 諒 HASEGAWA Ryo

平成30年3月 体育学部スポーツ総合課程卒業
浜松学芸高等学校出身



出会いに感謝

鹿屋体育大学で過ごした4年間は私にとっての誇りです。高校まで続けてきたサッカーをトップレベルの環境でやりたくて鹿屋体育大学に入学しました。予想はしていたものの、推薦入学者とは差があり、何度も壁にぶつかりました。その中で高い目標に向かって取り組む仲間、素晴らしい指導者、応援して下さる地域の方々に支えられ頑張ってきました。

現在私は地元鹿児島市のMBC開発株式会社で広告の営業をしております。大学でスポンサーになっておりました企業様とは今でもお付き合いがあります。人と人との繋がりを大切に、夢や目標に向かって頑張ってください。



MBC開発株式会社

中野 雄策 NAKANO Yusaku

平成28年3月 スポーツ総合課程卒業
鹿児島中央高校出身



他にない一風変わった大学生活

本学は、娯楽施設のない大自然に囲まれた辺境地に在るため、学内には只ならぬ一体感や学内の誰とでも仲良くなれる雰囲気が漂っています。それ故、多くの同期・先輩の良いところを見て吸収することができた4年間の学部生活は、筋骨格的な成長は勿論、人間的にも成長をさせてくれました。

また、世界有数の研究・トレーニング設備を活用できる環境は、大学院において自身の知的好奇心を追求させてくれ、その中でゴールに辿り着くまでの論理的な思考やそれを他者にも分かりやすく共有するという一研究者として必要な能力を学べました。

東洋大学生体医工学研究センター

渡邊 裕宣 WATANABE Hironori

平成25年3月 体育学部スポーツ総合課程卒業
平成27年3月 大学院体育学研究科修士課程修了
平成30年3月 大学院体育学研究科博士後期課程修了
福岡県立城南高等学校出身

鹿屋での4年間

私は現在、福岡県の高校で保健体育科の教諭をしています。教員になりたいという一心で鹿屋体育大学に入学し、4年間を過ごしました。

どの競技においても、全国トップレベルの選手が在学している中で、競技に打ち込み、勉強した鹿屋での4年間は本当に良い刺激になりました。

大学の先生方の熱心なご指導、職員の方々のサポート、先輩や同期、後輩との出会いがあったからこそ、成長することができ、夢を叶える事ができました。

何に打ち込むにも最高の環境が鹿屋にはあります。夢に向けて頑張ってください。

福岡県立遠賀高等学校教諭

今林 亮太 IMABAYASHI Ryota

平成31年3月 体育学部スポーツ総合課程卒業
福岡県立春日高等学校出身



CAMPUS AND FACILITIES



① ゴルフ練習場

南側の丘陵斜面に設置され、打席数は11、フェアウェイは130m×38mの広さです。



② スポーツパフォーマンス研究センター

本学が推進するスポーツパフォーマンス研究の拠点施設であり、世界で唯一の設備(50mフォースプレート)を備えた屋内研究施設です。(詳細は35頁)



③ 合宿研修所

本学学生の合宿研修及び本学の主催する講習会、研修会等に参加する外来者の合宿研修に使用する施設で、講師宿泊室5室、洋室(ベッド数8)9室、和室(15畳、6名収容)6室、があり、計113名が宿泊可能です。その他に、研修室(50名、20名)を2室設置しています。



④ 陸上競技場

全天候型の400mトラックで競技会ができる3種公認競技場です。



⑤ トレーニング場

主に屋外競技用のトレーニング施設で、科学的トレーニングを行うための各種ウエイトレーニング機器等が設置されています。



⑥ サッカー場・ラグビー場

公式競技用としての広さを有し、サッカー場・ラグビー場それぞれ全面天然芝張で照明設備も設置されています。

学生宿舎(19頁参照)



⑦ 野球場

両翼92m、中堅117mあり、スコアボードは本部席から操作できるように判定表示装置が設置されています。



⑧ 附属図書館

附属図書館は、1階に受付カウンター、開架閲覧室、NIFSラコモ(自学自習の場)、2階に開架閲覧室、グループ学習室などを設置しています。一般市民の方々も利用可能です(詳細は36頁)。



⑨ 武道館

武道の継承、振興及び競技力の向上を目指す本学武道課程の中心施設です(詳細は34頁)。



⑩ 総合体育館(主体育館/1F)

総合体育館は各種公式競技に対応できるよう設計されており、主体育室は球技用としてバスケットボール2面、バレーボール2面、テニス2面、ハンドボール2面、バドミントン8面の競技が可能なスペースを確保できます。その他、体操練習室、ダンス練習室、トレーニング室があります。



⑩ 総合体育館(体操練習室/2F)

体操練習室には、鉄棒、跳馬、あん馬、つり輪、ゆか、平均台、平行棒等の体操競技に必要な器具・設備が設置され、公式競技も可能となっています。



⑪ 球技体育館

室内競技専用の体育館で、バレーボール(バスケットボール)、バドミントン、卓球の専用室があります。



⑫ 屋内実験プール

泳ぎについて科学的に教育研究活動が行えるように最新鋭の設備機器と50m長水路、25mの短水路のコースを備えた日本で唯一の実験プールです(詳細は34頁)。



⑬ テニスコート

全面ハードコートで照明設備も設置されています。



屋内実験プール

単に水泳競技用を使用するだけでなく、「泳ぎ」について運動力学、運動生理学的見地から科学的に教育研究活動が行えるよう最新鋭の機器を備えた施設です。1階は、水泳、シンクロナイズドスイミング、高飛び込み競技や50m長水路のプール(8コース)、25m短水路のプール(8コース)のほか、実験研究用コース(3コース:ミラー、ペースメーカー等の実験用器材を設置)、飛び込み台(5m、3m、1m)、可動式床(水深0m~2m調整可)、水泳フォームをあらゆる角度から分析できる加減圧調整可能流水プール、データ解析室等の設備を備えています。2階はミーティングルームのほか、上部からもビデオ撮影及び見学ができるキャットウォークも設置されています。水温は適温に調整され、薬剤注入や滅菌が自動的にできる循環濾過装置も設置されています。



柔道場



剣道場

武道館

武道の継承、振興及び競技力の向上を目指す本学武道課程の中心施設。1階に柔道場と相撲場、2階に剣道場、武道館に隣接して弓道場があります。

- 柔道場** 公式競技が同時に2面可能な342畳敷の柔道場、さらにサブ道場(136畳敷、ウェイトトレーニング用機器常置)も設置されています。
- 剣道場** 公式競技が2面可能な剣道場及びサブ剣道場があり、床は松材です。
- 相撲場** 武道館1階に設置されています。
- 弓道場** 武道館に隣接しており、6人立ちが可能となっています。



相撲場



弓道場



スポーツパフォーマンス研究センター



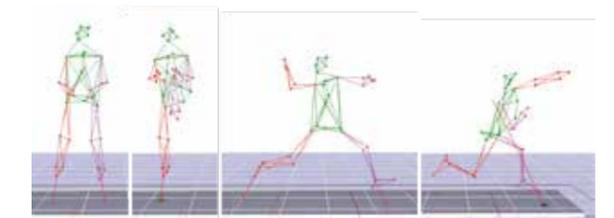
(図1) フォースプレート
走行直線にフォースプレートを54枚設置(スタート地点を含む)
歩行や走行などの動作を行う際の地面反力を測定できる機器



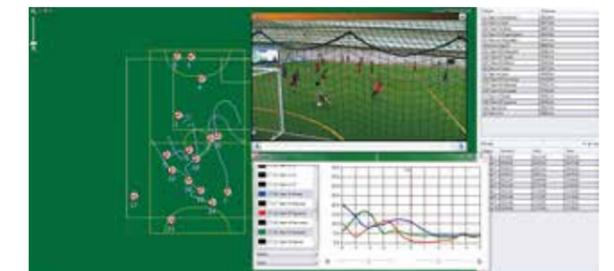
(図2) フォースプレート一体型マウンドおよびバッターボックス
フォースプレート完備のピッチャーマウンド・バッターボックスで、投手と打者の同時測定が可能(写真はマウンド)

スポーツパフォーマンス研究センターは、国内初の最先端スポーツ科学研究設備を備えた学内共同教育研究施設です。スポーツ現場のコツやカンといった『実践知』を科学的エビデンスとして創出・還元するスポーツパフォーマンス研究を推進するため2018年に設置されました。屋内スポーツ実験室には主要設備として、世界最長の50mフォースプレート(図1)、フォースプレート一体型マウンドおよびバッターボックス(図2)、モーションキャプチャシステム(図3)、オブジェクトトラッキングシステム(図4)、ハイスピードカメラ、球質測定システム等の最新の測定機器に加え、可動式カメラ架台、大型モニター2台が設置されています。

スポーツ実験室は約3,500㎡(70m×50m)の広さで、高さ15m、床は人工芝と陸上用のウレタン走路(屋内70m、屋外40m)の最長110mで構成されており、屋外(屋根付き)にはテニスコートが一面併設されています。施設内では、陸上、テニス等の個人種目に限らず野球やサッカー等のチーム種目におけるゲームパフォーマンス分析など多様なスポーツパフォーマンス測定を実施することが可能です。



(図3) モーションキャプチャシステム:
反射マーカークの三次元位置情報をデジタルデータとして取得できる機器



(図4) オブジェクトトラッキングシステム:選手に装着したセンサーから座標位置、移動速度、身体の向き、心拍数などの情報を無線方式でリアルタイムに測定可能な機器

附属図書館 Library

附属図書館では、教育研究活動に必要な専門図書や一般教養図書のほか、体育・スポーツ、レクリエーションや武道分野の雑誌、映像資料等DVDも数多く所蔵しています。電子ジャーナル、英文多読に最適な電子図書も利用できます。また、グループ学習室、NIFSラコモもあり、タブレットPCを使ったグループディスカッションなど学生の自学自修の場としても活用できます。



■附属図書館ホームページ <http://www.lib.nifs-k.ac.jp>



多彩に広がる教育・研究・スポーツ環境

スポーツ情報センター

Information Technology Center for Sports Sciences

情報通信技術を用いた教育と研究を支援するとともに、情報の発信を通じて体育・スポーツの進展に寄与することを目的としています。

キャンパスネットワークやコンピュータシステム、情報セキュリティなど学内のICTに関わる管理・運用とその研究、スポーツにおけるICT活用の支援と研究、三次元動作分析装置や高速度カメラなどスポーツ科学研究機器の貸出や技術支援などを行っています。



国際交流センター

International Exchange and Language Education Center

国際交流センターでは、「スポーツ・異文化理解・語学の3本柱を有機的に結びつけた事業を通して、本学のグローバル化を推進する」というビジョンに基づき、よりよい語学教育カリキュラムの開発、海外の交流協定締結校からの留学生の受け入れ及び本学学生の派遣、米国ハワイ及びオーストラリアシドニーへの海外短期研修プログラム、スポーツ・武道を通じた国際交流活動、留学生と日本人学生の交流活動、国際スポーツ・アカデミー事業の支援などを行っています。



国際交流センター2階の
Communication Room 1

生涯スポーツ実践センター

Interdisciplinary Research Center for Lifelong Sport and Physical Activity

生涯スポーツに関する実践指導と学際的な研究・教育を広く社会との連携を図りながら行うことを目的としています。

主に、人々の各ライフステージに応じた運動・スポーツプログラムの開発・指導、地域のスポーツ振興や健康づくり、地域スポーツプログラムの開発支援、生涯スポーツ指導者の育成支援、運動・スポーツプログラムの地域社会への効果の測定などに関する教育・研究を行っています。



海洋スポーツセンター

Center for Water Sports and Sciences

海洋スポーツに関する理論教育・実技指導及び研究活動を行うほか、広く海洋スポーツに関する研修会・講習会の開催、課外活動等にも活用し、実践的指導者の養成、競技力の向上及び生涯スポーツとしての普及に努めています。また、公開講座の開催や関連団体のセンター活用など、可能な限りでの施設開放に取り組み、各事業・活動・研究成果などの情報を学内外に発信することによって、幅広い海洋スポーツの振興に努めています。



スポーツトレーニング教育研究センター

Center of Sports Training Research and Education

高度な測定機器やトレーニング機器を本センターに集中的に配置し、学内共同利用施設として、教員はもとより学部生や大学院生が自由に施設を活用して、トレーニングの研究や教育を行う場を提供しています。また、各種のトレーニングの意義や効果を科学的に分析・評価するために、様々な研究プロジェクトも行われています。

たとえば、発育・発達段階に応じた一般児童生徒の体力づくりや、ジュニアアスリートのトレーニングの新たな方法を開発するために、地域の小・中・高等学校と連携して体力測定を行い、そのデータに基づいたトレーニングを長期的な視点で行っています。また、様々なスポーツ種目に携わる本学の選手や国内の一流選手を対象として、同様の研究も行っています。これらの研究成果を講習会、学術誌、広報誌などを通じて、学内外に情報発信しています。



プロスキーヤーで
登山家の三浦雄一郎さん

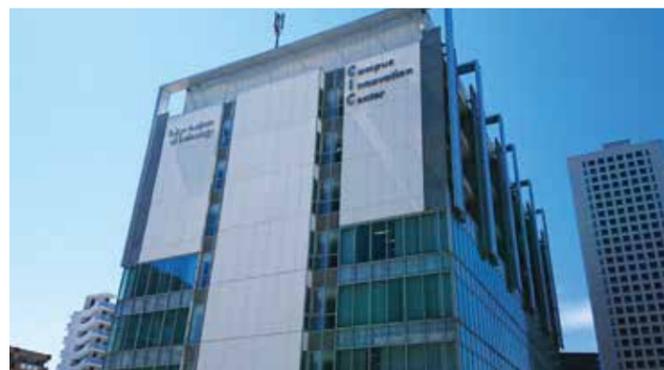
東京サテライトキャンパス

Tokyo Satellite Campus

鹿屋体育大学の首都圏での教育研究の振興及び社会との連携等の拠点としての役割を担っています。

具体的には、大学院の講義や公開講座、大学説明会等が行われているほか、筑波大学との連携や首都圏における広報活動、産学連携事業の推進及び学生の就職活動の拠点としても活用されています。

平成25年度より筑波大学東京キャンパス文京校舎内に設置しておりましたが、平成31年2月に東京工業大学キャンパス・イノベーションセンターへ移転しました。



EXTRACURRICULAR ACTIVITIES

本学には、現在、23の体育系課外活動団体と1つの研究会があり、ほとんどの学生が加入しています。特に、多くの体育系課外活動団体では、全国規模の大会で優秀な成績を収めるなど、活発な活動を展開しています。課外活動は、学生が自主的に行う活動であり、社会の一員として必要な資質を身に付けたり、教養を高めるなどの大切な役割を担っています。また、課外活動を通じて得られるさまざまな体験は、学生生活をより充実させ、一生忘れることのできないすばらしい思い出にもなります。したがって、学生が各自の関心と適性にあった課外活動団体に所属し、より高い専門的知識や技能を身に付けるために積極的に活動することをお勧めします。



課外活動団体紹介



NIFS プログラム

男子バレーボール部

部員数：5名(男子5名)
練習日・時間：(月～金) 16:15～19:30 (土) 10:00～13:00
主な成績：
○第29回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会 4位
○第1回全日本ビーチバレーボールU-23男女選抜優勝大会 4位
○第30回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会 4位

男子バレーボール部は、インドア・ビーチバレー共に「日本一」を目指して活動しています。競技力向上だけでなく、運営、審判、学業にも力を入れています。個々が高い意識を持ち、チーム一丸となって精進していきます。



女子バレーボール部

部員数：26名(男子1名、女子25名)
練習日・時間：(火～金) 16:15～20:00
(土・日) 7:30～11:00、14:30～17:30
※朝練(火～金) 6:45～7:15
主な成績：

○平成22年第57回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 優勝
○平成25年第60回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 優勝
○平成28年第63回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 優勝

女子バレーボール部は、貪欲・団結をテーマに日々の練習に励んでいます。私たちは日本一を目標とし、思いやりの精神で、切磋琢磨しながら、感謝の気持ちを行動やプレーで表し、恩返しすることを心がけて応援されるチームを目指しています。



男子バスケットボール部

部員数：28名(男子28名)
練習日・時間：(月・木) 16:20～18:20
(火・金) 19:00～21:00
(土) 10:00～11:30、13:00～15:00
主な成績：

○平成23年全国大学バスケットボール選手権大会(インカレ) ベスト8
○平成28年天皇杯(オールジャパン) 出場
○平成28年全国大学バスケットボール選手権大会(インカレ) ベスト32

私達はインカレ出場を目標に掲げ、日々練習に取り組んでいます。また、愛し愛されるチームという理念の下、部活動以外にも審判活動やバスケットボールキャンプを行い、地域との関わりを大切にしています。選手はもちろん学生コーチやトレーナー等の入部を希望しています。



女子バスケットボール部

部員数：27名(男子1名、女子26名)
練習日・時間：(月) 18:00～21:00
(火・水・金) 16:20～19:00
(土) 9:30～13:00
主な成績：

○平成29年度全日本大学バスケットボール選手権大会 第4位
○平成27/28/29/30/31年度 全日本選手権(皇后杯) 出場
○令和元年度全日本大学バスケットボール選手権大会 ベスト8

女子バスケットボール部は各自が目標をしっかりと見据えて、競技力だけでなく指導力・審判・運営・学業も含めた向上を目指し、各々のキャリアに関わらず全員一丸となって活動に取り組んでいる元気で明るいチームです。



陸上競技部

部員数：105名(男子70名、女子35名)
練習日・時間：(月～金) 16:10～19:30 (土・日) 9:00～12:00
※朝練(月・火・木・金) 6:20～8:00
主な成績：

○平成23年日本陸上競技選手権大会 男子砲丸投2位
○平成29年日本陸上競技選手権大会 男子三段跳3位
○平成26～28年日本学生陸上競技対校選手権大会 女子10000m優勝(3年連続)

陸上競技部は、5名の教員(コーチ)の指導のもと、各競技ブロックに分かれて精力的に活動を行っています。また、部の運営は学生が主体であり、主将・主事を中心となり、34の役職を、部員のほぼ全員で担っています。



硬式野球部

部員数：62名(男子61名、女子1名)
練習日・時間：(月・火・木) 16:10～20:00
(金) 16:00～19:00 (土・日) 8:30～17:00
主な成績：

○平成31年 第68回九州地区大学野球大会 準優勝
○令和元年 鹿児島県大学野球秋季リーグ戦 優勝
○令和元年 第102回九州地区大学野球選手権南部九州ブロック大会 準優勝

鹿屋体育大学が誇る最高峰の施設と、最新のスポーツ科学技術を利用して、選手・スタッフ一人一人が当事者意識を持って「魅力的な野球」を創っています。日本一のチームワークを武器に全日本大学野球選手権で勝ち進み、野球界に一石を投じます!



テニス部

部員数：23名(男子12名、女子11名)
練習日・時間：(月・火・木・金) 16:30～19:00 (土) 9:00～13:00
主な成績：

○令和元年度全日本大学対抗テニス選手権 男子団体ベスト8
○令和元年度全日本大学対抗テニス選手権 女子団体ベスト8
○令和元年度全日本学生室内テニス選手権 女子シングルス準優勝

テニス部は、全国王座3位、九州学生テニス選手権大会での全員本戦出場を目標にしています。目標達成のため、部員各々が主体的に練習に取り組み、明るい雰囲気と競争心をもって部活に取り組んでいます。





サッカー部

部員数：97名(男子96名、女子1名)
練習日・時間：(月～木)16:00～19:00(金)16:00～18:00
(土・日)9:30～12:00
※朝練(月～金)6:15～8:00

主な成績：

- 平成25年度全日本大学サッカー選手権大会 3位
- 平成30年度全日本大学サッカートーナメント ベスト8
- 令和元年度天皇杯全日本サッカー選手権大会 3回戦進出

サッカー部は、「勇往邁進」をスローガンに掲げ、より多くの学生の試合経験を増やすことを目的に、3チームに分かれて活動しています。またサッカーの競技活動だけでなく、小・中学生の指導や幼稚園や保育園への巡回指導など、サッカーを通じての人間形成と地域貢献を行えるよう活動しています。



ラグビー部

部員数：1名(男子1名)
練習日・時間：(日)10:00～12:00
主な成績：

ラグビー部は、社会人チームの鹿屋ウォンパッツ、ろっこうクラブに参加させて頂き、日々練習に励んでいます。ラグビーは、1つのボールを皆で運ぶスポーツで体と体がぶつかり合う音は見ている人をも魅了させます。少しでも、ラグビーに興味がある方はぜひラグビー部へ。

※令和元年度部員と社会人チームとの写真



体操競技部

部員数：28名(男子25名、女子3名)
練習日・時間：(月・火・木・金)16:15～20:30
(水)16:15～17:30(土)15:15～19:00

主な成績：

- 令和元年全日本体操種目別選手権 男子あん馬優勝
- 令和元年W杯ギマランイス大会(ポルトガル) 男子ゆか優勝・あん馬優勝
- 令和元年度W杯バクー大会(アゼルバイジャン) 男子あん馬2位

体操競技部は「至誠通天」をスローガンとし、チーム一丸となり日本一を目指しています。また個々の目標を掲げ、レベルに応じたレベルアップと目標達成のために日々練習に励んでいます。



水泳部

部員数：31名(男子21名、女子10名)
練習日・時間：(月～金)16:00～19:00(土)8:30～12:00
※朝練(火・木)5:30～8:00

主な成績：

- 2004年アテネオリンピック 女子800m自由形 柴田亜衣 優勝
- 2005～2008、2012日本学生選手権 女子団体優勝
- 国際大会代表選手 16名

水泳部は、人格形成と競技力向上を目的に活動しています。国際大会代表選手排出及び日本学生選手権において全選手がベストパフォーマンスを出せるように日々努力しています。



柔道部

部員数：58名(男子45名、女子13名)
練習日・時間：(月・火・木)16:20～20:00(水)16:20～19:00
(金)16:20～19:30(土)9:00～12:00
※朝練(月・火・木・金)6:30～7:30

主な成績：

- 平成27年講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 男子66kg優勝
- 令和元年九州学生柔道優勝大会 男子優勝、女子準優勝
- 令和元年全日本学生体重別選手権 女子70kg優勝

柔道部は人間形成と競技力向上を目標に、学生の主体性を重視した厳しい稽古に励んでいます。「地方から日本一、鹿屋から世界へ」を実現すべく部員一丸となり精進しています。

剣道部

部員数：128名(男子93名、女子35名)
練習日・時間：(月～木)16:30～18:30
(金)16:00～17:30(土)9:00～12:00
※朝練(火・木)6:50～7:30

主な成績：

- 全日本学生剣道優勝大会 優勝4回(1999,2005,2009,2014)
- 全日本女子学生剣道優勝大会 優勝10回
(1989,1991,1995～1999,2010,2015,2018)
- 全日本学生剣道選手権大会 男子個人優勝4回、女子個人優勝6回

1984年創部以来、「朝鍛夕錬」「主一無適」の精神と実生活での行動を相即させるべく日々剣道の稽古に汗を流しています。



ヨット部

部員数：15名(男子13名、女子2名)
練習日・時間：(月・火・木・金)16:15～18:30
(土・日)8:30～18:00

主な成績：

- 平成27年全日本学生ヨット選手権大会 スナイプ級優勝
- 平成30年全日本学生女子ヨット選手権大会 470級3位
- 令和元年全日本学生ヨット選手権大会 出場

【当たり前のことを当たり前に】というスローガンの下、活動しています。全日本学生選手権での優勝を目標に、明るく楽しいチームの雰囲気でも元気に活動していきます。



漕艇部

部員数：7名(男子2名、女子5名)
練習日・時間：(月・火・木)16:00～20:30(水・金)16:00～19:00
(土)7:30～16:30

主な成績：

- 平成30年度全日本軽量級ボート選手権大会 男子ダブルスカル 第8位
- 平成31年度全日本ボート選手権大会 女子軽量級ダブルスカル 優勝
- 平成31年度全日本学生ボート選手権大会 女子ダブルスカル 第7位

漕艇部は、全員がインカレでA決勝に進出し、メダルを取ることを第一の目標とし、全日本選手権でも入賞を目指しています。部の雰囲気は、にぎやかです。お互いを刺激しあって、日々トレーニングに取り組んでいます。





自転車競技部

部員数：32名(男子30名、女子2名)
練習日・時間：(火～金)6:00～7:30/16:00～19:00

主な成績：

- 日本代表(国際大会出場)計50名
オリンピック(2012ロンドン、2016リオデジャネイロ)へ関係者計4名出場他
- 日本記録樹立 延べ41回(計7名)
- 各種全国大会優勝 延べ335回(計61名)<全日本インカレ総合優勝(男子4回、女子13回)>

自転車競技に最適な大隅半島の活動環境と、大学内での最先端の科学トレーニングを生かし、「世界で戦えるエリート選手輩出」と「日本の自転車競技をメジャーにする為の人材育成」を創部の理念として活動しています。

ウインドサーフィン部

部員数：10名(男子7名、女子3名)
練習日・時間：(月・火・木・金)16:15～18:30
(土)9:00～17:00

主な成績：

- 平成29年全日本学生ボードセーリング選手権(個人戦) 5位
- 2018 PWA フォイルクラス 世界ユース年間ランキング1位
- 令和元年全日本学生ボードセーリング選手権 女子8位

個々に目的・目標を掲げるとともに、チームでの全日本インカレ入賞、九州選手権での優勝を目標に活動しています。個性あるメンバーと共に和気あいあいとした雰囲気の中、練習に取り組んでいます。



カヌー部

部員数：22名(男子19名、女子3名)
練習日・時間：(月～木)16:00～19:00
(土)9:00～16:30

主な成績：

- 2019年度日本カヌースプリント選手権大会 女子カヤックペア500m 優勝
- 2019年度日本カヌースプリント選手権大会 男子カヤックペア200m 優勝
- 第55回全日本学生カヌースプリント選手権大会 男子カナディアンシングル200m 優勝

私たちカヌー部は、国際大会で日本代表として活躍すること、全日本学生選手権優勝が大きな目標です。また、自己の鍛錬はもとより、団体活動の中で個性をいかしつつ、部の発展に寄与していくことで、よりよい人格の形成を目指しています。

アスレティックトレーナー部

部員数：13名(男子8名、女子5名)
練習日・時間：(水)20:30～22:00

主な成績：

アスレティックトレーナー部は、様々な課外活動団体に所属している学生で構成されています。週1回の勉強会に加えて各課外活動団体での実践を普段から心がけるとともに、優秀な選手やトレーニング設備等が数多くあるなど本学の多くの利点を生かしていくことを目指しています。



なぎなた部

部員数：9名(女子9名)
練習日・時間：(月～木)16:00～19:00(土)9:00～12:00

主な成績：

- 第57回全日本学生なぎなた選手権大会 団体準優勝・個人優勝
- 第58回全日本学生なぎなた選手権大会 団体準優勝(2年連続)・個人優勝(2年連続)

なぎなた部では、専門の指導者がいないなか、部員同士でメニューを組み、教え合いながら稽古をしています。「自主性」をモットーとし、日本一に向かって頑張っています。これからも応援の程、よろしくお願致します。

ゴルフ部

部員数：2名(男子2名)
練習日・時間：(月・水・金)16:30～18:30(土)8:30～16:30

主な成績：

- 平成23年度ドラコン日本選手権 出場
- 平成24年度鹿児島県大学ゴルフ選手権 4位

ゴルフ部は、ゴルフを通じた人とのつながりを大事にして、楽しくプレーすることをテーマに活動しています。大学内には、奥行き140ヤードの練習場があり、週末にはコースでの練習、ラウンドもでき、練習環境はとても充実しています。人数が少ない中でも精一杯活動して頑張っています。



セパタクロー部

部員数：7名(男子7名)
練習日・時間：(月～木)16:00～19:00(金)16:00～21:00
(土)13:30～16:00

主な成績：

- 平成21年度全日本学生セパタクロー選手権 男子 3位
- 平成27年度全日本ビギナーズカップ 男子 準優勝
- 平成28年度全日本セパタクロージュニア選手権大会 ベスト16

セパタクローは、空中の格闘技とも呼ばれ、アクロパティックな動きが特徴です。日本では、大学から始める選手がほとんどで、競技歴が短くても日本代表に選ばれる可能性も大きいにある競技です。全日本大会優勝、日本代表選抜を目指して日々、切磋琢磨しています。

ダンス部

部員数：7名(男子5名、女子2名)
練習日・時間：(月・火・木・金)16:30～19:00

主な成績：

- 第31回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸) 創作コンクール部門 出場
- ワールドダンスコンペティション in NIIGATA ソロ部門、グループ部門 出場
- アーティストック・ムーブメント・イン・トヤマ (第20回少人数による創作ダンスコンクール) 出場

ダンス部は、ヒップホップやジャズ、創作ダンスまで幅広いジャンルで活動しています。壁一面に鏡のあるダンス練習室という恵まれた環境で、ダンスを通じた仲間とのつながりや、地域との交流を大切に、様々な身体表現の可能性を追求しています。



ENTRANCE EXAMINATION INFORMATION

令和2年度入学者選抜実施結果

スポーツ総合課程

単位:名

区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
AO(SS)入試	10	5(0)	5(0)	5(0)	5(0)
推薦入試	50	72(23)	72(23)	55(18)	55(18)
一般入試	60	192(37)	182(37)	72(11)	68(11)
特別入試	帰国子女	若干人	1(0)	1(0)	0(0)
	社会人	若干人	1(0)	1(0)	0(0)
私費外国人留学生入試	若干人	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
計	120	271(60)	261(60)	132(29)	128(29)
第3年次編入	20注1)	40(12)	40(12)	20(6)	20(6)

()は、女子で内数。注1)第3年次編入の募集人員は、スポーツ総合課程と武道課程と共通。

武道課程

単位:名

区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
AO(SS)入試	5	3(2)	3(2)	3(2)	3(2)
推薦入試	20	18(3)	18(3)	18(3)	18(3)
一般入試	25	46(8)	44(8)	33(7)	30(7)
特別入試	帰国子女	若干人	0(0)	0(0)	0(0)
	社会人	若干人	0(0)	0(0)	0(0)
私費外国人留学生入試	若干人	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
計	50	67(13)	65(13)	54(12)	51(12)
第3年次編入	20注1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

令和2年度
出身地別入学者数
(出身高等学校所在地による都道府県別内訳)
合計179(41)
(第3年次編入学者は除く)
※()内は女子で内数

令和2年度
出身地別在学者数
(出身高等学校所在地による都道府県別内訳)
合計770(193)
(令和2年4月現在在籍者全員)
※()内は女子で内数



令和3年度入学者選抜方法

次の選抜方法により実施します。

- 総合型選抜(SS)入試*
- 学校推薦型選抜
- 一般選抜
- 帰国子女入試
- 社会人入試
- 私費外国人留学生入試
- 第3年次編入学試験

*SSとは、スーパー・スチューデント(Super Student)の略で、競技能力の特に高い者を指します。

選抜方法の概要

令和3年度入学者選抜要項は令和2年7月配付予定です。

選抜要項の請求

封筒の表に「令和3年度選抜要項請求」と朱書きし、返信用封筒(角形2号封筒に宛名明記・140円切手を貼付)を同封の上請求してください。

請求先

〒891-2393
鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学教務課入試係
TEL(0994)46-4869



テレメール モバっちょ

大学説明会及び体験授業(鹿屋体育大学白水キャンパスで開催)

大学説明会

第1回 | 令和2年 7月18日(土) 10:20~16:00

第2回 | 令和2年 10月10日(土) 10:20~16:00



本学の特色や教育・研究の内容について理解を深めてもらうとともに、施設見学等により、進路選択の参考としてもらうために次のとおり実施します。受験生、保護者、高校の先生方など多数の参加をお待ちしています。

- ①在学生からのアドバイス ②質疑応答 ③実験、実習体験を含む施設見学 ④大学案内・入試資料・記念グッズ配付

※当初予定しておりました第1回大学説明会(7月18日(土))及び体験授業(7月19日(日))について、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加者に来学していただく形式は中止し、動画配信などインターネット上で開催することとしました。

WEBオープンキャンパス

新型コロナウイルスの影響により、令和2年度第1回大学説明会が中止となったことを受け、大学見学ができない受験生の皆さんのために、「鹿屋体育大学WEBオープンキャンパス」を開催します。下記の情報を公開していますので、ぜひご覧ください。

- ▶ 大学紹介ビデオ
- ▶ 大学概要、入試概要説明
- ▶ 在学生からのメッセージ
- ▶ 授業紹介
- ① 課外活動紹介
- ① 施設紹介
- ① 学生宿舎について



東京サテライトキャンパスでの大学説明会(所在地:東京都港区芝浦3-3-6)

- 第1回 ~~令和2年5月17日(日)~~ ※
- 第2回 ~~令和2年6月14日(日)~~ ※
- 第3回 令和2年8月8日(土)
- 第4回 令和2年8月9日(日)
- 第5回 令和2年11月1日(日)
- 第6回 令和3年1月24日(日)
- 第7回 令和3年3月14日(日)



●時間はいずれの回も13時30分(受付)~16時30分 ●日程は変更になることがあります。
※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止とさせていただきます。第3回以降についても中止となる場合がありますので、本学ホームページでご確認ください。



詳細については、本学ホームページをご覧ください。



トップページ

研究者の紹介

鹿屋体育大学のホームページを開設しています。学部・大学院の詳細な内容やキャンパスライフ、入試情報などをお知らせします。

<https://www.nifs-k.ac.jp/>

R REGIONAL CONTRIBUTION & UNIVERSITY-COMMUNITY RELATIONS PROJECTS

鹿屋体育大学では、大学のもつ人的・知的資源、施設・設備等を活かし、様々な地域貢献・社会連携等の取組を行っています。学生が主体的に関わるものも多く、貴重な学びの場にもなっています。ここでは本学が行っている主な取組をいくつか紹介します。

スポーツボランティア

地域の子どもの体力低下、運動部離れ、スポーツ指導者の不足、さらに中・高齢者の運動不足の解消や健康づくりのために、鹿屋市と連携し、学生ボランティアが地域の学校やスポーツ団体等においてスポーツ指導（指導補助）を安全で円滑にできるように支援しています。



公開講座

例年、本学の強みを生かしたスポーツ講座（マリンスポーツ、バスケットボール、バレーボール）や健康講座（水中運動教室）、英語の講座など、15講座ほど開講しています。講座によっては、地域の方々だけでなく離島や県外からも多くの参加があります。また、2020東京五輪・パラリンピックへ向けた講座、かごしま県民大学や県総合教育センターとの連携講座、東京サテライトキャンパスでの講座なども開設しています。



貯筋研究プロジェクト

近年大きな社会問題である日本人の体力・運動能力の低下現象に対し、鹿屋体育大学モデル「NIFSみんなの貯筋研究プロジェクト」として生活フィットネス（生活機能）向上のための“家庭でできる筋力トレーニングプログラム（貯筋運動プログラム）”を作成し、その普及振興を図っています。



学長杯の開催

学長杯として、例年、海洋スポーツセンターでのオープンヨットレース、薩摩の伝統遊戯である破魔投げ大会、大隅地区の子ども達を対象にしたサッカー大会を開催し、一般市民のみなさんへスポーツと触れ合う機会を提供しています。

高須小学校ヨット学習との合同授業

「競技スポーツ論・実習Ⅱ・Ⅲ—海洋スポーツ」の授業の一環として、鹿屋市立高須小学校児童へのヨット学習指導を行っています。大学生は授業の中で指導プログラムを準備し、ロールプレイング形式の演習を経た後、指導者として高須小学校の児童に対するプログラムを実践展開します。ロープワークに関する講義のほか、対象児童の学年に合わせて機遊びやカヌー・ヨットの体験乗船、操船学習などを行います。高須小学校にとっては、海岸地域にある学校の「特色ある学校作り」を目指した授業の一環となっています。



鹿屋市・垂水市との連携

教育・文化・スポーツの振興、健康及び福祉の充実、まちづくり、地域産業の活性化、生涯学習の推進などで包括連携協定を結んでいます。主な取組として、鹿屋市との「スポーツ合宿まちづくり推進事業」、垂水市のマリンスポーツ施設整備計画への参加・協力等を行っています。



PICK UP ① タイ王国男子バレーボールナショナルチーム事前キャンプ

平成30年5月に本学、鹿屋市、鹿児島県とタイ王国で締結した2020年東京オリンピック競技大会事前キャンプに関する覚書に基づき、令和元年8月にタイ王国男子バレーボールナショナルチームが事前キャンプを実施しました。滞在期間中、本学でスポーツパフォーマンス研究センターにて動作分析を行い、選手の能力向上を図りました。串良平和アリーナでは、国体鹿児島選抜チームとのテストマッチや抽選会を行う等、ホストタウンとして市民との交流を深めました。



PICK UP ② Blue Winds事業（地域とのスポーツ連携事業）

平成29年度より、大学スポーツを通して鹿屋市をはじめとした地域の活性化に繋げる文化モデル（KANOKYAモデル）を進めており、令和元年度からは、鹿屋市と共同で創設した地域密着スポーツブランド「Blue Winds」を冠とした「Blue Winds事業」として、昨年度に引き続き、「かのやエンジョイスポーツ」や「カレッジスポーツデイ」等のイベントを実施しました。

国立大隅青少年自然の家との連携

相互の人的・知的資源の交流と物的資源の活用によるスポーツ体験活動等を通じた社会貢献及び教育研究分野の発展に資するための連携・協力事業を行っています。例として、おおすみくんちスポーツキャンプでの本学学生による指導・測定などが挙げられます。



各課外活動団体の取組

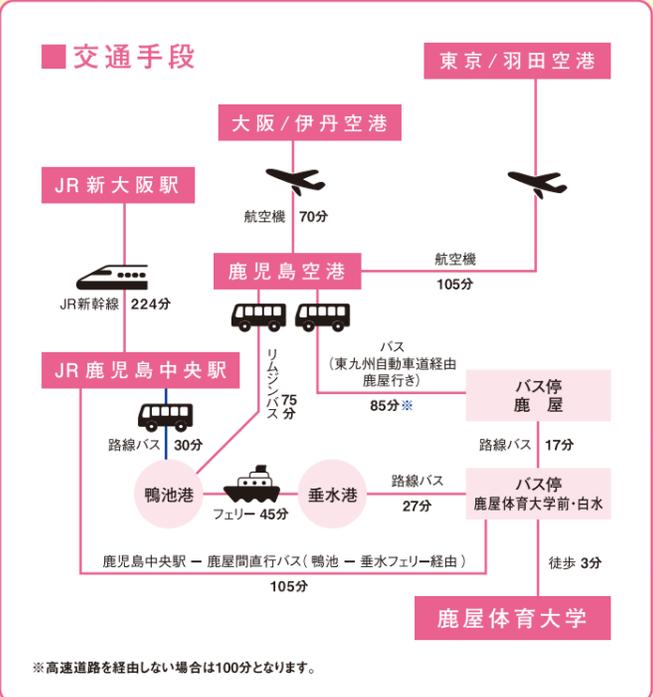
各課外活動団体で、地域の小中高生等を対象とした競技会やスポーツ教室を開催しています。また、自治体等が主催する競技大会での審判活動や運営補助、各種スポーツ教室での指導補助を行うなど、積極的に社会・地域貢献活動に取り組んでいます。



スポーツリフレッシュセミナー

本学と鹿児島県教育委員会との共催により、中学校、高等学校、特別支援学校の保健体育担当教員及び運動部活動指導者並びに競技団体の競技力向上担当指導者を対象に、競技力向上を担う指導者としての資質向上を図ることを目的として、体育・スポーツ及び健康に関する専門的研究や最新のトレーニング法の研修を実施しています。

ACCESS & AREA MAP



1 かのやばら園

8haの広大な敷地に3万5千株のバラが植えられた日本最大級の誇る「かのやばら園」。鹿屋オリジナルのバラ「プリンセスかのや」をはじめ、春のシーズンには、たくさんのバラが咲き誇ります。



2 平和公園串良平和アリーナ

滑走路跡の2本の直線道路が桜の名所としても知られている平和公園にあるアリーナ。2020年10月かごしま国体では成年女子バレーボールの試合が行われる予定です。



3 仲町・京町エリア

鹿屋市中心市街地は美味しい、楽しいがいっぱい。レトロな雰囲気のお店や鹿屋の特産物、名物を味わえるお店が数多く並びます。



4 神徳稲荷神社

珍しいガラスの鳥居と連なる赤い鳥居が印象的な神社。静かで落ち着いた雰囲気でお詣りやお宮参りにぴったりです。



5 雄川の滝

近年話題になった癒スポット。1.2kmの遊歩道を進むと大パノラマが広がり、エメラルドグリーンな滝つぼは美しく神秘的です。